

令和5年度 泉松陵高等学校 学校評価

『 学校評価アンケート集計 』

◎ 項目

(1) 学校オリジナル・県共通 28 項目

◎ 実施日 令和5年11月8日～11月15日

◎ 集計の特徴

(1) 集計項目を精選

- ・生徒・保護者・職員のアンケートを、項目ごとにまとめて表示

(2) 「評価度」の活用

- ・評価度とは、個人の評価（◎:2、○:1、△:-1、×:-2）
- ・評価度とは分布の割合から評価度の平均を算定したもの
- ・ $-2 \leq$ 「評価度」 ≤ 2 であり、2に近づくほど評価は高い

(3) 評価における比較の多元化の維持

- ・生徒・保護者・職員の比較を、①年度間、②男女間、③学年間で比較が可能

(4) 評価のグラフ化

- ・生徒・保護者・職員毎に積み立て棒グラフで視覚化

(5) 分析のコメント作成

- ・生徒・保護者・職員と全体の分析を簡単なコメントで表現

令和4年度 学校評価アンケート 関連事項毎 分析・考察

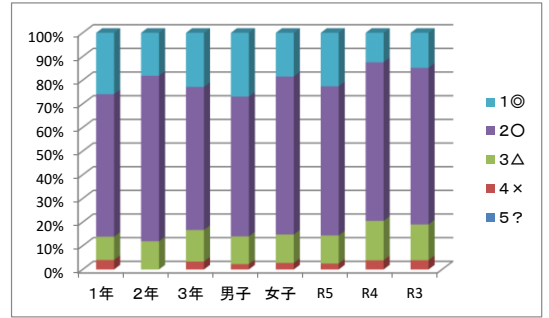
1 学ぶ意欲・学力を身につける授業

A教務

【生徒用】

1 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

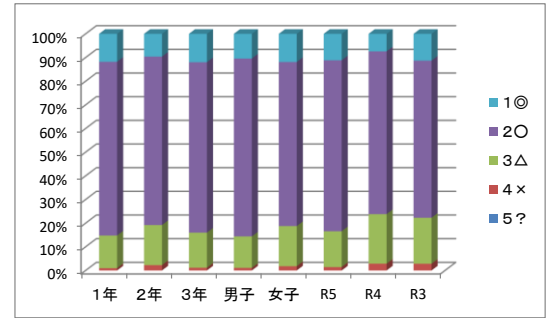
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	26%	18%	23%	27%	18%	23%	12%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	60%	70%	60%	59%	67%	63%	67%	66%	
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	12%	13%	12%	12%	12%	17%	15%	
4×	当てはまらない	-2	4%	0%	3%	2%	3%	3%	4%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	618	662	
評価度(-2~2)			→	0.94	0.94	0.86	0.97	0.86	0.91	0.67	0.73



【保護者用】

1 お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

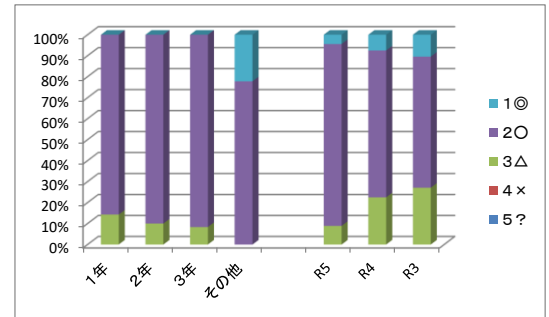
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	12%	10%	12%	10%	12%	11%	7%	11%	
2○	だいたい当てはまる	1	73%	71%	72%	75%	69%	72%	69%	66%	
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	17%	15%	13%	17%	15%	21%	19%	
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	1%	1%	2%	1%	3%	3%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	525	530	
評価度(-2~2)			→	0.81	0.69	0.79	0.81	0.73	0.77	0.57	0.64



【職員用】

1 生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業が行われている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	22%		4%	8%	10%	
2○	だいたい当てはまる	1	86%	90%	92%	78%		87%	70%	63%	
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	10%	8%	0%		9%	23%	27%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9		45	40	48	
評価度(-2~2)			→	0.71	0.80	0.83	1.22		0.87	0.63	0.56



生徒用	今年度全体特徴	「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われているか」との質問項目に対して、「よく当てはまる」と回答した生徒が3年間で最も多かった。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した生徒が合わせて86%となった。
	男女間比較	男子の方が「よく当てはまる」と回答した割合が高い。
	学年間比較	全学年で学力を身につけられるような授業が行われていると肯定的に考える生徒が多く、「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した生徒がどの学年でも80%を超えている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同じ質問項目に対して、R5年度の保護者は「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した割合が高い。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した保護者の割合の合計が過去3年間で最も高い。
	男女間比較	男女ともに「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した割合が80%を超えている。
	学年間比較	全学年で「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の肯定的な評価の割合の合計が80%を超えている。
職員	今年度全体特徴	評価度は昨年の0.63よりも0.24ポイントと大幅に上昇したが、昨年度と同様に、保護者と職員の間の評価の差がある。
	年度間比較	過去2年間に比べて「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と肯定的に答えた割合が91%と最も高く、「あまり当てはまらない」と回答した割合は昨年度より大幅に減少した。
	学年間比較	学年が上がるにつれて評価が高くなっている。
全体	昨年度に比べて生徒の評価と職員による評価がともに大きく上昇している。一方で昨年度と同様に、保護者と職員間の評価度の差が生じている。「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業」を展開していると全学年を通じて肯定的に感じる生徒・保護者がいる一方で、「あまり当てはまらない」と回答する生徒・保護者がいることも受け止め、今後の指導に役立てるべきである。	

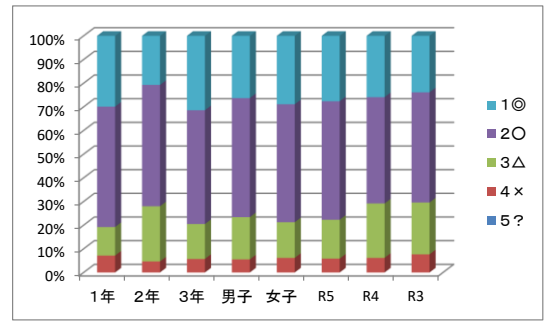
2 学業と部活動の両立

A教務

【生徒用】

2 自分は学業と部活動の両立ができています。

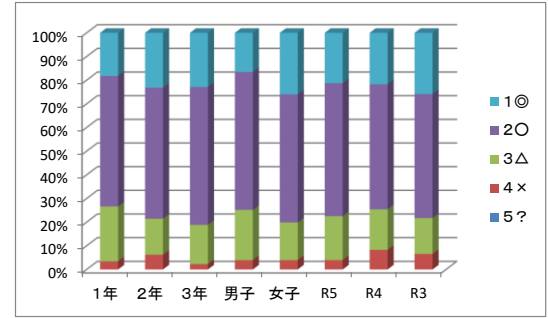
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	30%	21%	31%	26%	29%	28%	26%	24%	
2○	だいたい当てはまる	1	51%	51%	48%	50%	50%	50%	45%	47%	
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	23%	15%	18%	15%	16%	23%	22%	
4×	当てはまらない	-2	7%	5%	6%	6%	6%	6%	6%	8%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	648	666	
評価度 (-2~2)			→	0.84	0.60	0.85	0.74	0.80	0.77	0.61	0.57



【保護者用】

2 お子さんは、学業と部活動の両立ができています。

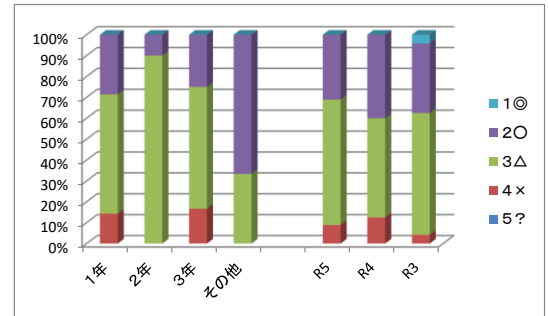
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	18%	23%	23%	17%	26%	21%	22%	26%	
2○	だいたい当てはまる	1	55%	55%	58%	58%	54%	56%	53%	52%	
3△	あまり当てはまらない	-1	23%	15%	17%	21%	16%	19%	17%	15%	
4×	当てはまらない	-2	3%	6%	2%	4%	4%	4%	8%	7%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	543	534	
評価度 (-2~2)			→	0.62	0.74	0.83	0.62	0.82	0.72	0.63	0.76



【職員用】

2 生徒は、学業と部活動の両立ができています。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	
2○	だいたい当てはまる	1	29%	10%	25%	67%	31%	40%	33%	
3△	あまり当てはまらない	-1	57%	90%	58%	33%	60%	48%	58%	
4×	当てはまらない	-2	14%	0%	17%	0%	9%	13%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9	45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	-0.57	-0.80	-0.67	0.33	-0.47	-0.33	-0.25



生徒用	今年度全体特徴	過去2年間と比べて、学業と部活動の両立に取り組んだと肯定的に捉えている割合が0.16増加した。
	年度間比較	この3年間については、上昇傾向が続いている。(0.57→0.61→0.77)
	男女間比較	女子の方が男子と比較して、評価度が0.06ポイント高い結果となっている。
	学年間比較	1・3学年の0.84、0.85という評価の一方で、2学年が0.60とやや低い値になっている(昨年度の1学年は0.70で、全学年で最も低かった)。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同じような評価を示しているが、生徒よりも評価が低い。
	年度間比較	ここ数年は0.60台から0.70台の間を推移している。(0.65→0.76→0.63→0.72)
	男女間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と肯定的に捉えている保護者の割合は男女ともに75%を超えている。
	学年間比較	学年が上がるごとにポイントが上昇しており、3年が0.83と最も高い。
職員	今年度全体特徴	どの学年も全体的に低い評価となり、マイナスポイントとなっている。
	年度間比較	昨年度やに比べて「だいたい当てはまる」の回答が31%に下降した。
	学年間比較	2学年のポイントが最も低く、90%が「あまり当てはまらない」と回答している。
全体	生徒・保護者はマイナスポイントとならなかったが、職員はすべての学年がマイナスポイントである。生徒の学業と部活動の取り組みに関する職員の現状認識が、理想と乖離していることが窺われる。また1・2学年については生徒・保護者の評価にも乖離が見られる。	

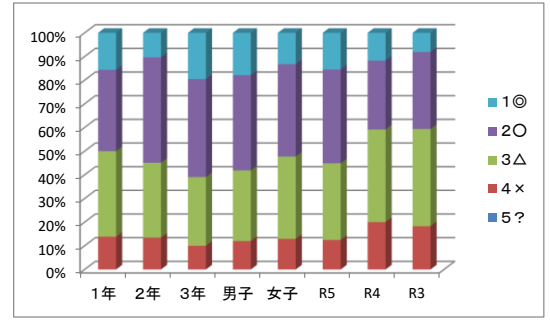
3 家庭学習の習慣

A教務

【生徒用】

3 自分は家庭学習の習慣が身に付いている。

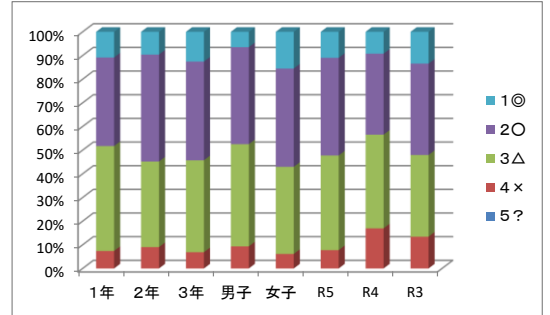
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	16%	10%	20%	18%	13%	15%	12%	8%	
2○	だいたい当てはまる	1	34%	45%	41%	40%	39%	40%	29%	33%	
3△	あまり当てはまらない	-1	36%	32%	29%	30%	35%	32%	39%	41%	
4×	当てはまらない	-2	14%	13%	10%	12%	13%	12%	20%	18%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	649	667	
評価度 (-2~2)			→	0.02	0.07	0.31	0.22	0.05	0.13	-0.27	-0.29



【保護者用】

3 お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。

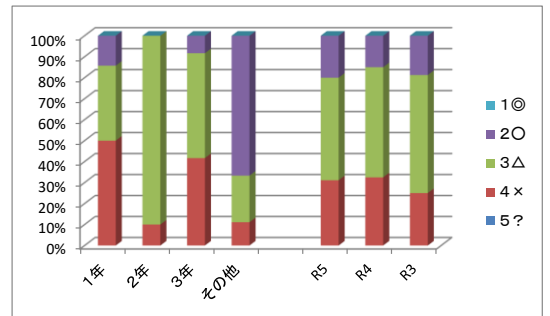
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	11%	10%	13%	6%	16%	11%	9%	13%	
2○	だいたい当てはまる	1	37%	45%	42%	41%	42%	41%	34%	39%	
3△	あまり当てはまらない	-1	44%	36%	39%	43%	37%	40%	40%	35%	
4×	当てはまらない	-2	7%	9%	7%	9%	6%	8%	17%	13%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	543	536	
評価度 (-2~2)			→	0.00	0.10	0.14	-0.08	0.23	0.08	-0.21	0.04



【職員用】

3 生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
2○	だいたい当てはまる	1	14%	0%	8%	67%		20%	15%	19%	
3△	あまり当てはまらない	-1	36%	90%	50%	22%		49%	53%	56%	
4×	当てはまらない	-2	50%	10%	42%	11%		31%	33%	25%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9		45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	-1.21	-1.10	-1.25	0.22		-0.91	-1.03	-0.88



生徒用	今年度全体特徴	マイナス評価はなくなったものの、進路意識の高い3学年以外は家庭での学習習慣が身につけていない傾向が見られる。
	年度間比較	例年よりも全体的に値が上昇している。
	男女間比較	女子の評価度が男子に比べて低い。
	学年間比較	3学年の評価度が最も高いのは昨年と同様の傾向。
保護者用	今年度全体特徴	例年よりも「当てはまらない」の回答がやや少なくなっている。
	年度間比較	昨年度に比べるとポイントが上昇し、3年間では最も高い評価度となった。
	男女間比較	男子でマイナス評価となっている。
	学年間比較	学年が上がるにつれてポイントが微増している。
職員	今年度全体特徴	家庭での継続した学習習慣が身につけていないと感じている教員の割合が非常に高い。特に3学年の職員の評価が最も低い。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.12ポイント上昇したが、(家庭学習の習慣が身につけているのが)「当てはまらない」と回答したのが31%と昨年度と同様の値。
	学年間比較	どの学年も-1以下である。特に受験生である3学年において-1.25と最も低い評価となっているが、これは昨年度と同様の傾向。
全体	評価の結果からは、家庭での学習習慣の定着について教職員と生徒・保護者の間の認識が大きく異なっている様子が窺われる。生徒・保護者の評価結果の中でマイナス評価となったのは男子生徒の保護者のみであり、他はプラス評価となっている。家庭での学習について声かけをする側である保護者の意識を高めていくために、生徒への指導と併せて保護者に対する働きかけを行うことが急務である。	

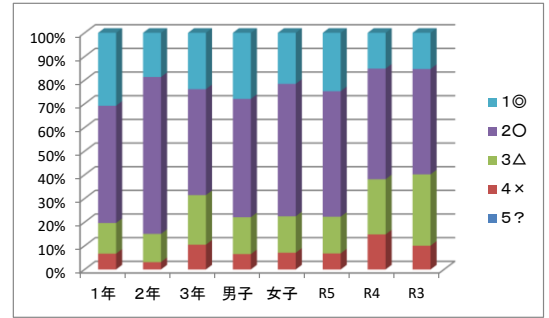
4 PTテスト

A教務

【生徒用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、自分の基礎学力の定着に役立っている。

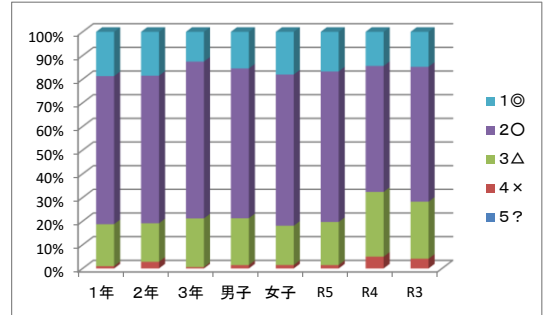
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	31%	19%	24%	28%	22%	25%	15%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	66%	45%	50%	56%	53%	47%	45%	
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	12%	21%	16%	15%	15%	23%	30%	
4×	当てはまらない	-2	7%	3%	10%	6%	7%	7%	15%	10%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	648	667	
評価度 (-2~2)			→	0.85	0.85	0.50	0.77	0.70	0.73	0.24	0.25



【保護者用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、お子さんの基礎学力の定着に役立っている。

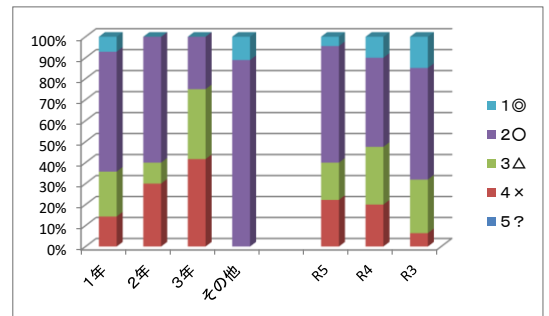
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	19%	19%	13%	15%	18%	17%	14%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	63%	63%	66%	63%	64%	64%	53%	57%	
3△	あまり当てはまらない	-1	18%	16%	21%	20%	17%	18%	27%	24%	
4×	当てはまらない	-2	1%	3%	1%	1%	1%	1%	5%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	541	535	
評価度 (-2~2)			→	0.80	0.78	0.70	0.72	0.81	0.76	0.45	0.54



【職員用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、生徒の基礎学力の定着に役立っている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	7%	0%	0%	11%	4%	10%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	57%	60%	25%	89%	56%	43%	53%	
3△	あまり当てはまらない	-1	21%	10%	33%	0%	18%	28%	26%	
4×	当てはまらない	-2	14%	30%	42%	0%	22%	20%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9	45	40	47	
評価度 (-2~2)			→	0.21	-0.10	-0.92	1.11	0.02	-0.05	0.45



生徒用	今年度全体特徴	昨年度、一昨年度に比べて大幅にポイントが上昇している。(0.25→0.24→0.73)、「当てはまる」と「だいたい当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が78%に達している。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」と回答している生徒の割合が減少傾向にあり、基礎学力の定着に役立っている様子が見られる。
	男女間比較	男子の方が「よく当てはまる」と回答した生徒の割合が女子よりも高く、評価度も0.77と高い。
	学年間比較	どの学年もプラスの評価であるが、1・2学年が最も高く、3学年より0.3ポイント高い。
保護者用	今年度全体特徴	昨年度は生徒の評価よりも保護者の評価が高い傾向があったが、今年度は逆になっている。
	年度間比較	過去2年間に比べて、「当てはまらない」と回答した割合が1%と最も低い。
	男女間比較	生徒の評価とは逆に、女子の評価度が高くなっている。
	学年間比較	学年が上がるに従って評価度が下がってくる傾向は生徒と同様であるが、3学年では生徒ほど評価度は低い。
職員	今年度全体特徴	評価度はプラスに転じたものの、昨年度とほとんど同じ評価度である。
	年度間比較	昨年度は全ての学年で肯定的な回答が50%を超えていたが、今年度は3学年で肯定的な回答が25%だった。
	学年間比較	1学年ではPTテストの評価度はプラスであるが、2・3学年ではマイナス傾向である。
全体	学年が上がるごとにPTテストへの評価が下がっている。3学年ではPTテストを実施していないため、これらの回答は「過去のことについて答えている」ものか、あるいは「現在実施していないから役に立っているとは評価できない」と考えて回答している可能性がある。来年度の評価時には質問項目について工夫が必要である。一方でPTテストを実施している2学年の職員の評価が低い様子が見られることから、学年が上がるにつれて教職員にとってPTテストの必要度が感じられなくなっている可能性もある。内容を精査したり、職員間で目的を共有したりすることが必要である。	

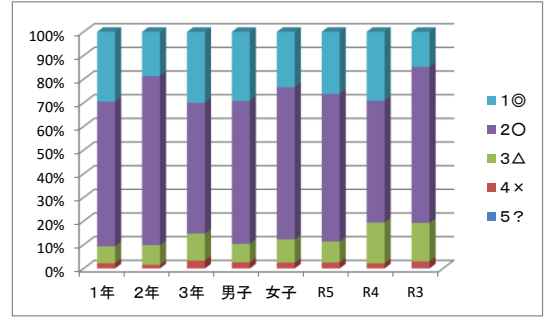
5 基本的生活習慣の確立に関する指導

B生徒

【生徒用】

5 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

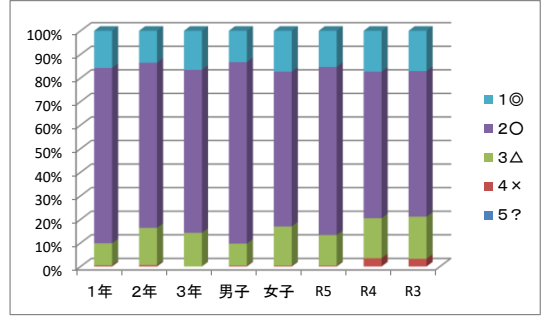
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	29%	19%	30%	29%	23%	26%	29%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	61%	72%	55%	60%	64%	62%	51%	66%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	8%	11%	8%	10%	9%	17%	16%
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	3%	3%	2%	3%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	535
評価度 (-2~2)			→ 1.08	0.97	0.97	1.06	0.96	1.01	0.88	0.74



【保護者用】

5 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

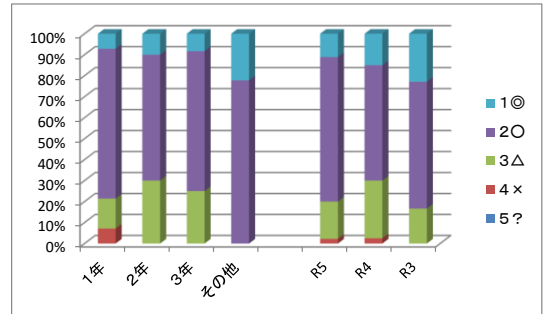
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	16%	14%	17%	13%	17%	15%	17%	17%
2○	だいたい当てはまる	1	74%	70%	69%	77%	66%	71%	62%	62%
3△	あまり当てはまらない	-1	9%	16%	14%	9%	17%	13%	17%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	4%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	542	615
評価度 (-2~2)			→ 0.96	0.80	0.88	0.94	0.83	0.88	0.73	0.72



【職員用】

5 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	7%	10%	8%	22%	11%	15%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	71%	60%	67%	78%	69%	55%	60%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	30%	25%	0%	18%	28%	17%
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	0%	0%	2%	3%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.57	0.50	0.58	1.22	0.69	0.53	0.90



生徒用	今年度全体特徴	全体として、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した生徒が多く、自己評価が高いことがわかる。
	年度間比較	昨年度と比べて、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している生徒の割合が増加している(80%→88%)。
	男女間比較	ほぼ同率の回答であるが、男子の方がやや守れている自覚が高い。
	学年間比較	わずかながら、1学年のほうが、2・3学年に比べて守れていると評価している。
保護者用	今年度全体特徴	生徒よりも評価度が低い。
	年度間比較	評価度自体は昨年度より上昇している。
	男女間比較	男子の保護者の方が、基本的生活習慣について学校での指導に高く評価している。
	学年間比較	2学年の評価度がやや低くなっている。
職員	今年度全体特徴	教職員の80%が基本的生活習慣の確立に関する指導が行われていると回答している。
	年度間比較	年度によって評価度が大きく変動している。(0.90→0.53→0.69)
	学年間比較	全学年で評価度はほぼ変わらないが、1学年では「当てはまらない」と答えている教職員が7%と他学年と比較してやや高くなっている。
全体	基本的生活習慣については、生徒・保護者・職員ともわずかな変化はありつつも、例年通りの回答である。指導の様子・意義は生徒や保護者に概ね理解されていると考える。学年ごとの数値の差があるので、学校全体で生徒指導するために、職員全員が情報を共有して対応していく必要がある。	

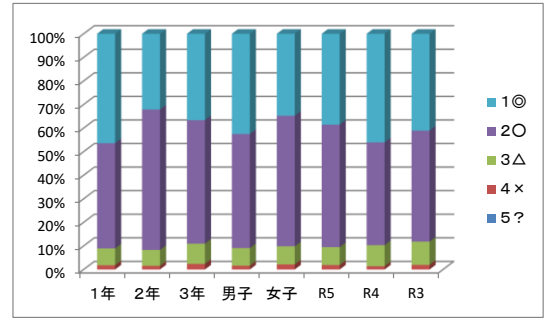
6 部活動の活発化

B生徒

【生徒用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

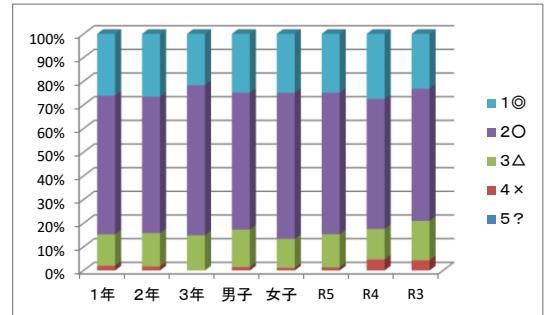
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	46%	32%	37%	43%	35%	39%	46%	41%	
2○	だいたい当てはまる	1	45%	60%	52%	48%	55%	52%	44%	47%	
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	7%	9%	7%	8%	8%	9%	10%	
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	2%	2%	2%	2%	1%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	649	667	
評価度 (-2~2)			→	1.27	1.14	1.12	1.23	1.13	1.18	1.24	1.15



【保護者用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

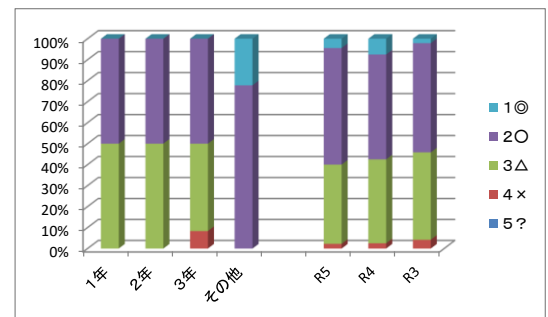
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	26%	27%	22%	25%	25%	25%	28%	23%	
2○	だいたい当てはまる	1	59%	58%	63%	58%	62%	60%	55%	56%	
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	14%	15%	16%	12%	14%	13%	17%	
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	0%	1%	1%	1%	5%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	541	534	
評価度 (-2~2)			→	0.94	0.93	0.92	0.89	0.97	0.93	0.88	0.77



【職員用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	22%	4%	8%	2%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	50%	50%	78%	56%	50%	52%	
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	50%	42%	0%	38%	40%	42%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%	2%	3%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9	45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	0.00	0.00	-0.08	1.22	0.22	0.20	0.06



生徒用	今年度全体特徴	85%の生徒が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した。
	年度間比較	この3年間ではほぼ同様の評価度で推移している。
	男女間比較	男子生徒の方が、部活動が活発に行われていると回答している生徒の割合が高い。
	学年間比較	学年が進むにつれて、評価度が微減している。
保護者用	今年度全体特徴	8割を超える保護者が、本校の部活動に対して、活発に行われていると感じている。
	年度間比較	前年度よりも「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している保護者が多い。
	男女間比較	男女共に、前向きな回答である。女子の保護者の方がより高く評価している。
	学年間比較	全学年で評価度はほぼ変わらない。
職員	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員は全体の60%だった。
	年度間比較	3年間で「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員が増加している。
	学年間比較	どの学年でも「よく当てはまる」と回答した職員は一人もいなかった。
全体	生徒・保護者と職員との間で大きな差が見られた。子ども達はそれなりに部活動を満喫している一方、職員はあまり部活動を活発だとは感じていない。コロナ禍の自粛期間が明けた後であっても、評価度に大きな違いは見られない。	

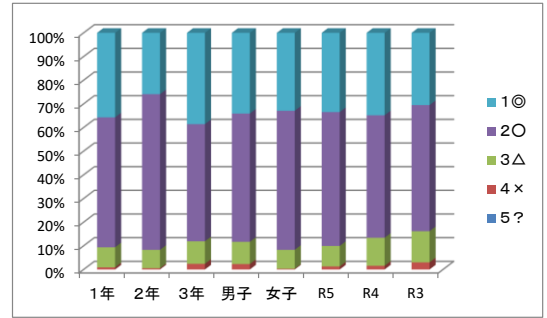
7 生徒会活動の活発化

B生徒

【生徒用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

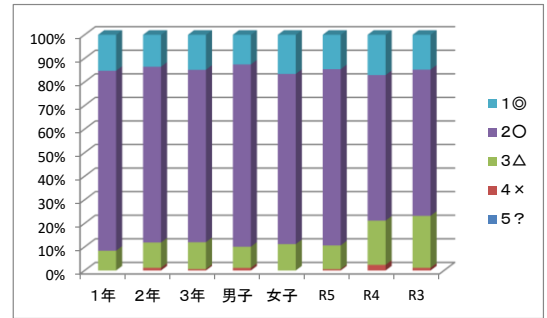
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	36%	26%	39%	34%	33%	33%	35%	31%
2○	だいたい当てはまる	1	55%	66%	50%	54%	59%	57%	52%	53%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	8%	10%	9%	8%	9%	12%	13%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	2%	2%	0%	1%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	668
評価度 (-2~2)			→ 1.16	1.09	1.12	1.08	1.16	1.12	1.06	0.95



【保護者用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

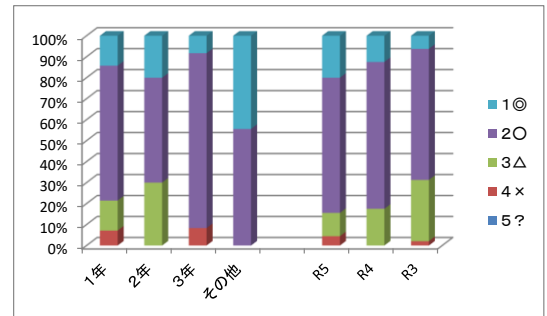
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	15%	14%	15%	13%	17%	15%	17%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	76%	75%	73%	77%	72%	75%	62%	62%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	11%	11%	9%	11%	10%	19%	22%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	1%	0%	1%	2%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	544	535
評価度 (-2~2)			→ 0.99	0.89	0.90	0.91	0.94	0.93	0.72	0.67



【職員用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	14%	20%	8%	44%		20%	13%	6%
2○	だいたい当てはまる	1	64%	50%	83%	56%		64%	70%	63%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	30%	0%	0%		11%	18%	29%
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	8%	0%		4%	0%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9		45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.64	0.60	0.83	1.44		0.84	0.78	0.42



生徒用	今年度全体特徴	全体的に肯定的に理解されている。
	年度間比較	9割を超える生徒が生徒会活動が活発に行われていると感じており、評価度はこの3年間で上昇している。
	男女間比較	男子よりも女子の方が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した人が多い。
	学年間比較	どの学年も評価は高いが、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している生徒の割合は3学年でやや高くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同様、全体的に肯定的に受け止められている。
	年度間比較	「当てはまらない」「あまり当てはまらない」と回答した人の割合が減少した。
	男女間比較	男子よりも女子の保護者の方が評価が高い。
	学年間比較	1学年で「当てはまらない」と回答した保護者が0だった。
職員	今年度全体特徴	約8割の職員が生徒会活動が活発に行われていると評価している。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」と回答した一の割合は3年連続で減少している。
	学年間比較	3学年の評価度が最も高い。1・2学年と比較して3学年の評価度が高い傾向は昨年度と同様である。
全体	活動の中心となっている学年の職員の影響もあるのか、特に1・2学年では職員間での評価の差が大きい傾向が見られる。	

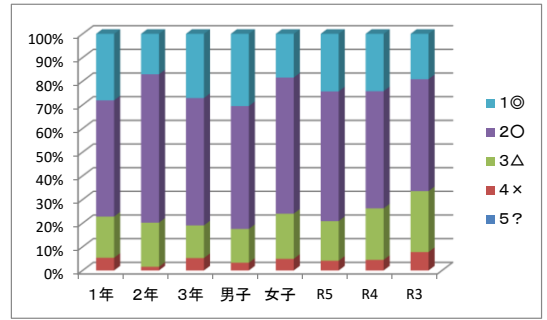
8 いじめ問題への取組

B生徒

【生徒用】

8 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

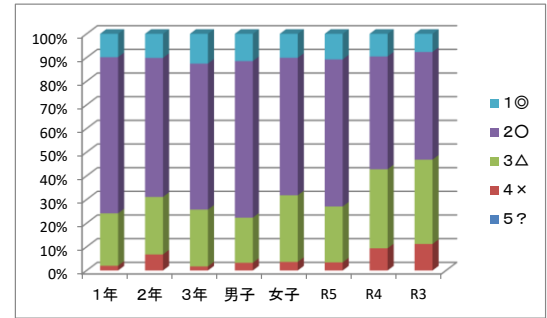
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	28%	17%	27%	31%	18%	24%	24%	19%	
2○	だいたい当てはまる	1	49%	63%	54%	52%	58%	55%	50%	47%	
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	19%	14%	14%	19%	17%	22%	26%	
4×	当てはまらない	-2	5%	2%	5%	3%	5%	4%	4%	8%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	648	668	
評価度 (-2~2)			→	0.77	0.75	0.84	0.92	0.66	0.79	0.67	0.44



【保護者用】

8 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。

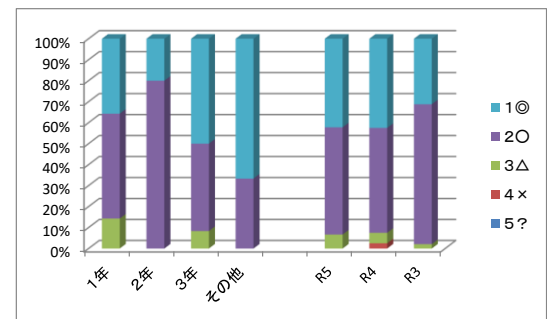
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	10%	10%	13%	12%	10%	11%	10%	8%	
2○	だいたい当てはまる	1	66%	59%	62%	66%	58%	62%	48%	46%	
3△	あまり当てはまらない	-1	22%	24%	24%	19%	28%	24%	33%	36%	
4×	当てはまらない	-2	2%	7%	2%	3%	4%	3%	9%	11%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	545	536	
評価度 (-2~2)			→	0.60	0.41	0.59	0.64	0.43	0.53	0.15	0.03



【職員用】

8 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	36%	20%	50%	67%		42%	43%	31%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	80%	42%	33%		51%	50%	67%	
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	0%	8%	0%		7%	5%	2%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	3%	0%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9		45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	1.07	1.20	1.33	1.67		1.29	1.25	1.27



生徒用	今年度全体特徴	いじめに関する学校の取り組みに「当てはまる」と感じている生徒は約8割である。
	年度間比較	一昨年に比べて昨年度急激に評価度が高くなり、その上昇傾向が今年度も続いている。
	男女間比較	男子の評価度の方が女子に比べて明らかに高い。
	学年間比較	他学年に比べて3学年の評価度がやや高くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した保護者の割合が70%を超えている。
	年度間比較	前年度、一昨年度に比べ「だいたい当てはまる」と回答した人の割合が急激に増加している。
	男女間比較	男子の保護者の方が評価度が高い。
	学年間比較	他学年に比べ、2学年の保護者の評価度がやや低くなっている。
職員	今年度全体特徴	9割の職員がいじめの早期発見に取り組んでいると回答している。
	年度間比較	3年間で評価度の数値はほぼ同程度で推移している。
	学年間比較	1学年で「あまり当てはまらない」と回答している職員の割合が高い。
全体	職員は全体的にいじめ対策に取り組んでいる意識があるが、1学年では「あまり当てはまらない」と回答している職員の割合がやや高くなっている。一方、生徒・保護者については、この3年間で評価度については上昇傾向にあるものの、職員の評価度とはまだ差が見られる。今後もさらに学校側の指導方針や指導の様子が伝わり、家庭での協力が得られるよう信頼関係を築いていく必要がある。	

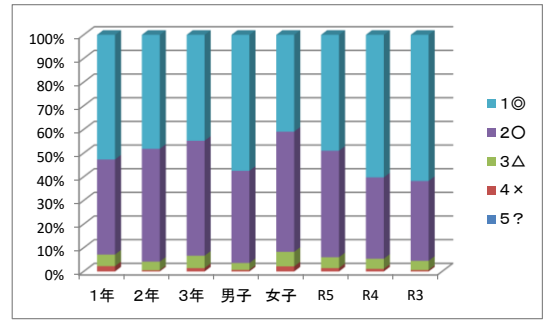
9 服装

B生徒

【生徒用】

9 自分は、正しい服装で学校生活を送っている。

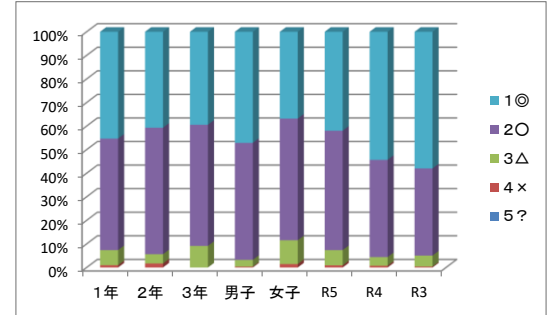
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	53%	48%	45%	57%	41%	49%	60%	62%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	48%	49%	39%	51%	45%	34%	34%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	4%	5%	3%	6%	5%	4%	4%
4×	当てはまらない	-2	2%	1%	1%	1%	2%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	667
評価度 (-2~2)			→ 1.36	1.39	1.30	1.50	1.22	1.36	1.48	1.52



【保護者用】

9 お子さんは、正しい服装で学校生活を送っている。

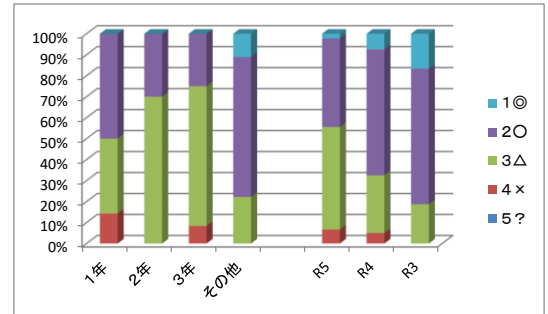
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	45%	41%	39%	47%	37%	42%	54%	58%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	54%	51%	50%	52%	51%	41%	37%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	4%	9%	3%	10%	6%	4%	5%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	0%	0%	1%	1%	1%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	543	533
評価度 (-2~2)			→ 1.30	1.28	1.21	1.40	1.12	1.26	1.45	1.47



【職員用】

9 生徒は、正しい服装で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	11%	2%	8%	17%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	30%	25%	67%	42%	60%	65%
3△	あまり当てはまらない	-1	36%	70%	67%	22%	49%	28%	19%
4×	当てはまらない	-2	14%	0%	8%	0%	7%	5%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ -0.14	-0.40	-0.58	0.67	-0.16	0.38	0.79



生徒用	今年度全体特徴	9割の生徒が、自分は正しい服装で学校生活を送っていると回答している。
	年度間比較	例年とあまり変わらない評価である。
	男女間比較	男子と比較すると女子の方がやや評価度が低い。
	学年間比較	1学年で1%、2学年で2%の生徒が「当てはまらない」と回答している(昨年度も1学年で2%が「当てはまらない」と回答)。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と比較して評価度はやや低くなっている。
	年度間比較	昨年から0.19ポイントと大きく評価度が下がった。
	男女間比較	生徒と同様に男子よりも女子の評価度が低い。
	学年間比較	学年が進むにつれて評価度は下がっている。
職員	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員は44%で、この3年間で最も低い割合。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の割合は昨年度から24ポイントと大幅に下がっている。
	学年間比較	特に3学年では75%の職員が「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している。
全体	生徒・保護者の評価度がこの3年間で微減している一方、職員の評価度は今年度急落した。職員の「当てはまらない」という回答が最も多かったのが1学年というのは昨年度と同じ傾向であるが、3学年で「あまり当てはまらない」「当てはまらない」が75%となったのは今年度の特徴である。	

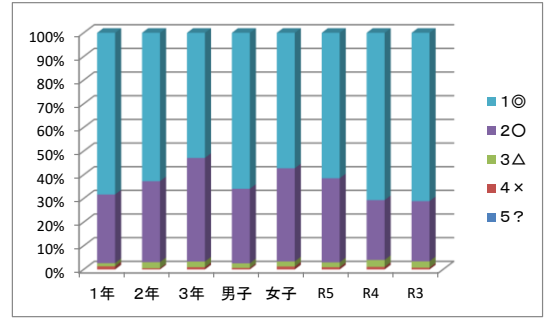
10 頭髪

B生徒

【生徒用】

10 自分は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

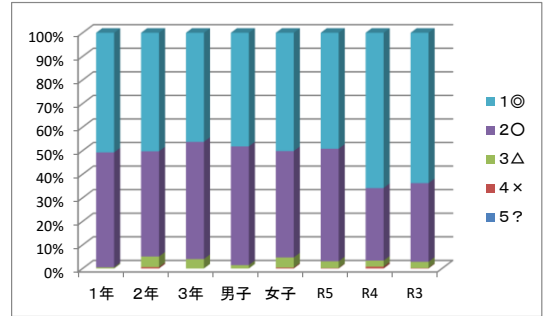
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	68%	63%	53%	66%	57%	61%	71%	71%
2○	だいたい当てはまる	1	29%	34%	44%	31%	39%	36%	25%	25%
3△	あまり当てはまらない	-1	1%	3%	2%	2%	2%	2%	3%	3%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	648	668
評価度 (-2~2)			→ 1.62	1.56	1.45	1.60	1.49	1.55	1.62	1.63



【保護者用】

10 お子さんは、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

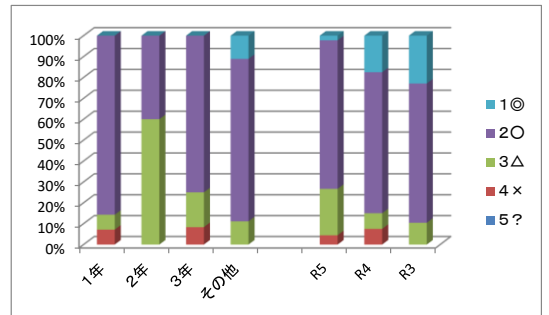
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	51%	50%	46%	48%	50%	49%	66%	64%
2○	だいたい当てはまる	1	49%	45%	50%	50%	45%	48%	31%	33%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	5%	4%	1%	4%	3%	3%	3%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	539	530
評価度 (-2~2)			→ 1.50	1.40	1.38	1.45	1.40	1.43	1.58	1.58



【職員用】

10 生徒は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	11%	2%	18%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	86%	40%	75%	78%	71%	68%	67%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	60%	17%	11%	22%	8%	10%
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	8%	0%	4%	8%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.64	-0.20	0.42	0.89	0.44	0.80	1.02



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどの生徒がきちんとした頭髪で学校生活を送っていると自己評価している。
	年度間比較	評価度は昨年度と比較して0.07ポイント低下した。
	男女間比較	男子の方が評価度が高い。
	学年間比較	各学年で1%ずつ「当てはまらない」と回答している生徒がいる。
保護者用	今年度全体特徴	生徒よりも若干低い評価ではあるが、多くの保護者がきちんとした頭髪で学校生活を送っていると回答している。
	年度間比較	評価度が昨年度から0.15ポイント低下した。
	男女間比較	「あまり当てはまらない」と答えた女子の保護者が4%いる。
	学年間比較	学年が進むにつれて評価度は下がっている。
職員	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた職員が7割程度と昨年度から急落した。
	年度間比較	85%以上が当てはまると回答していた昨年度・一昨年度に対して今年度は73%となり、「あまり当てはまらない」が22%と急増した。
	学年間比較	2学年では60%の職員が「あまり当てはまらない」と回答している。
全体	例年通り、生徒・保護者は比較的高く評価しているが、それも年度を経るに従って微減している。また、職員は今年度評価度が急激に下がっている。頭髪のルールについて生徒と保護者に一層の周知を図るとともに、教員間で共通認識をもって指導にあたる必要がある。	

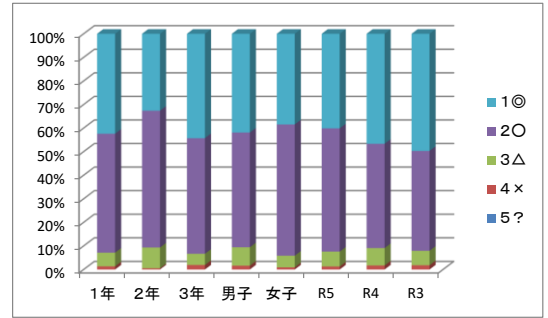
11 挨拶について

B生徒

【生徒用】

11 自分は、しっかりした挨拶ができています。

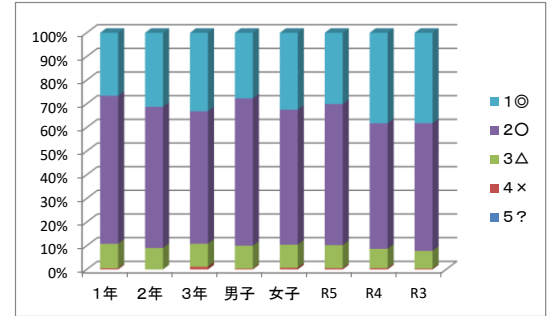
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	42%	33%	44%	42%	38%	40%	47%	50%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	58%	49%	49%	56%	52%	44%	42%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	9%	5%	8%	5%	6%	7%	6%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	2%	2%	1%	1%	2%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	668
評価度 (-2~2)			→ 1.27	1.13	1.29	1.21	1.26	1.24	1.27	1.32



【保護者用】

11 お子さんは、しっかりした挨拶ができています。

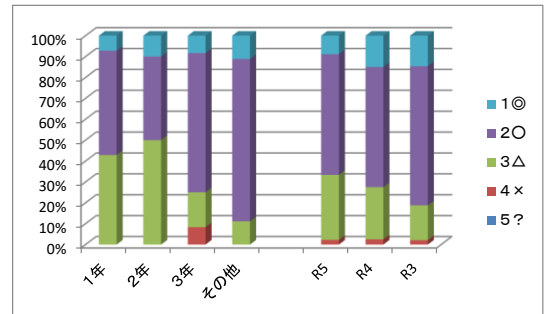
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	27%	31%	33%	28%	32%	30%	38%	38%
2○	だいたい当てはまる	1	63%	59%	56%	62%	57%	60%	53%	54%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	9%	10%	10%	10%	10%	8%	7%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	1%	0%	1%	1%	1%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	539	534
評価度 (-2~2)			→ 1.04	1.12	1.10	1.07	1.11	1.09	1.20	1.22



【職員用】

11 生徒は、しっかりした挨拶ができています。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	7%	10%	8%	11%	9%	15%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	40%	67%	78%	58%	58%	67%
3△	あまり当てはまらない	-1	43%	50%	17%	11%	31%	25%	17%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%	2%	3%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.21	0.10	0.50	0.89	0.40	0.58	0.75



生徒用	今年度全体特徴	全体的に、ほとんどの生徒が挨拶ができていますと回答している。
	年度間比較	「よく当てはまる」と回答する生徒の割合は年度を経て徐々に減少している。
	男女間比較	男女ともに9割の生徒がしっかりした挨拶ができていますと自負している。
	学年間比較	どの学年も挨拶に関しては良好な取組ができていると感じているようだが、2学年では挨拶ができていないと感じている生徒の割合がやや多い。
保護者用	今年度全体特徴	「あまり当てはまらない」と回答している保護者が10%おり、例年に比べて評価度は低くなっている。
	年度間比較	昨年度、一昨年度と比較して評価度が急落した。
	男女間比較	女子の方が評価度は0.04ポイント高い。
	学年間比較	「あまり当てはまらない」と回答している保護者は各学年で10%程度いる。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者と比較すると、高い割合の職員が生徒の挨拶ができていないと考えている。
	年度間比較	評価度は年度を追うごとに下がってきている。
	学年間比較	特に1学年と2学年で多くの職員が生徒の挨拶ができていないと考えている。
全体	ほとんどの生徒は挨拶に関する自己評価が高いものの、保護者の評価は少しずつ下がってきており、また、職員の評価は低い。挨拶のあり方について生徒と職員の間で意識の差があると考えられ、生徒に正しい挨拶を指導する必要がある。	

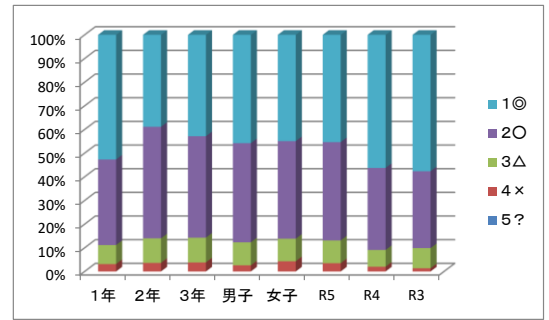
12 学校生活リズム

B生徒

【生徒用】

12 自分は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

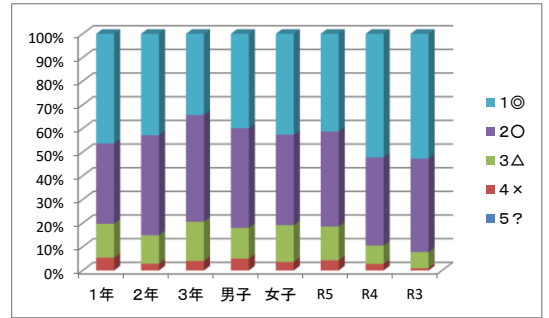
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	53%	39%	43%	46%	45%	45%	56%	58%
2○	だいたい当てはまる	1	36%	47%	43%	42%	41%	42%	35%	32%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	10%	10%	10%	10%	10%	7%	9%
4×	当てはまらない	-2	3%	4%	4%	3%	4%	3%	2%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	668
評価度 (-2~2)			→ 1.27	1.07	1.10	1.19	1.13	1.16	1.36	1.37



【保護者用】

12 お子さんは、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

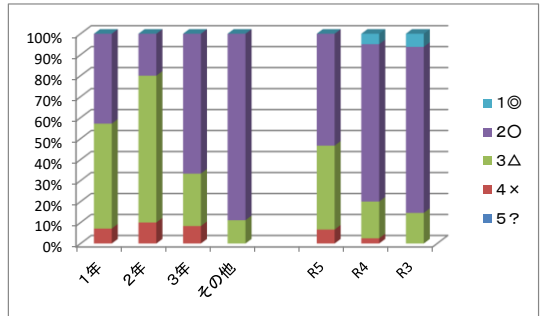
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	46%	42%	34%	40%	43%	41%	52%	53%
2○	だいたい当てはまる	1	34%	42%	45%	42%	38%	40%	37%	40%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	12%	17%	13%	16%	14%	8%	7%
4×	当てはまらない	-2	5%	3%	4%	5%	4%	4%	3%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	542	529
評価度 (-2~2)			→ 1.01	1.09	0.89	0.99	1.01	1.00	1.28	1.36



【職員用】

12 生徒は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%	0%	5%	6%
2○	だいたい当てはまる	1	43%	20%	67%	89%	53%	75%	79%
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	70%	25%	11%	40%	18%	15%
4×	当てはまらない	-2	7%	10%	8%	0%	7%	3%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ -0.21	-0.70	0.25	0.78	0.00	0.63	0.77



生徒用	今年度全体特徴	生活のリズムを身に付けられていないと考えている生徒の割合が増えている。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.2ポイント減少した。生活のリズムを身に付けられていないと考えている生徒の割合が、10%を超えている。
	男女間比較	男子の方が女子よりも評価度が0.06高い。
	学年間比較	特に2・3学年で評価度が低くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒は生活のリズムを身に付けられていないと考えている保護者の割合が増えている。
	年度間比較	昨年度と比べて評価度が0.28低下した。
	男女間比較	男子と女子の評価度はほぼ同じである。
	学年間比較	3学年の評価度が特に低くなっている。
職員	今年度全体特徴	約半数の職員が当てはまらなと考えており、昨年と比較して評価が急落した。
	年度間比較	昨年度から0.63ポイントの減少と、評価が急落している。
	学年間比較	1・2学年での評価度が低く、特に2学年では8割の教員が生徒は生活のリズムを身に付けられていないと考えている。
全体	学校の生活のリズムについて生徒の自己評価は比較的高いものの、年度を経るに従って下がってきている点や、保護者と職員の評価が下がってきており、特に職員の評価が急落しているという点については、制服や頭髮の傾向と同じである。特に生徒の認識を正す指導が必要である。	

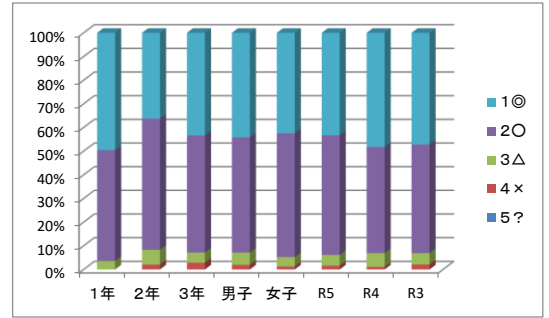
13 思いやりの心

B生徒

【生徒用】

13 自分は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

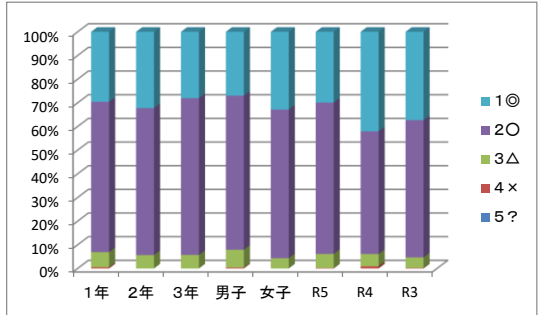
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	50%	36%	43%	44%	42%	43%	48%	47%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	55%	50%	49%	52%	51%	45%	46%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	6%	4%	5%	4%	5%	6%	5%
4×	当てはまらない	-2	0%	2%	3%	2%	1%	2%	1%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	668
評価度 (-2~2)			→ 1.42	1.18	1.26	1.28	1.31	1.29	1.33	1.31



【保護者用】

13 お子さんは、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

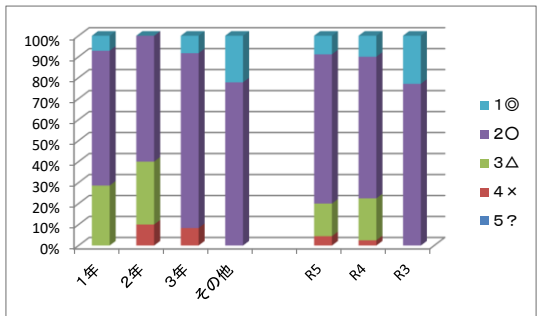
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	30%	32%	28%	27%	33%	30%	42%	37%
2○	だいたい当てはまる	1	64%	62%	66%	65%	63%	64%	52%	58%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	6%	6%	8%	4%	6%	5%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	540	536
評価度 (-2~2)			→ 1.15	1.21	1.17	1.11	1.24	1.17	1.29	1.28



【職員用】

13 生徒は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	7%	0%	8%	22%	9%	10%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	64%	60%	83%	78%	71%	68%	77%
3△	あまり当てはまらない	-1	29%	30%	0%	0%	16%	20%	0%
4×	当てはまらない	-2	0%	10%	8%	0%	4%	3%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.50	0.10	0.83	1.22	0.64	0.63	1.23



生徒用	今年度全体特徴	多くの生徒が、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接していると自負している。
	年度間比較	前年度とほぼ同様の評価である。
	男女間比較	どちらも9割の生徒が「思いやり」をもって生活しているが、女子の方が男子よりも高い評価度である。
	学年間比較	どの学年も思いやりの心をもって仲間と接している。わずかではあるが2学年が他学年よりも高い。
保護者用	今年度全体特徴	昨年度と比較して評価度が下がっている。
	年度間比較	昨年度から評価度は0.12ポイント減少した。
	男女間比較	女子の保護者の評価がやや高い。
	学年間比較	学年間で大きな差は見られないが、2学年の保護者の評価度がやや高くなっている。
職員	今年度全体特徴	この項目については昨年度評価が急落し、今年度は昨年度とほぼ同じ評価度である。
	年度間比較	昨年度とほぼ同様の評価度であり、回答別の割合もほぼ同じである。
	学年間比較	3学年の職員の評価度がやや高い。2学年では約4割の職員が、生徒に思いやりや助け合いの心が不足していると感じている。
全体	生徒の自己評価や保護者の評価に比べて、職員の評価の低さが特徴的である。職員が考える思いやりや助け合いの心の発露を、粘り強く生徒に指導していく必要がある。	

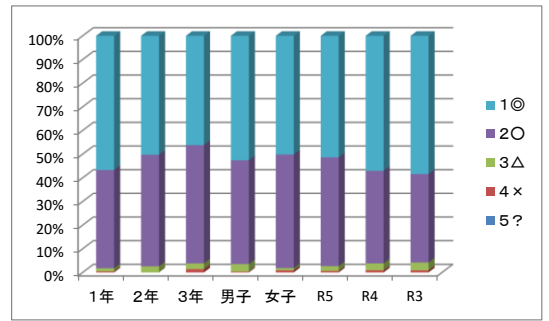
14 通学マナー

B生徒

【生徒用】

14 自分は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

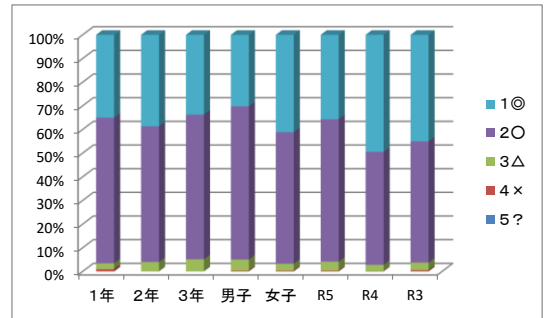
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	57%	50%	46%	53%	50%	51%	57%	58%
2○	だいたい当てはまる	1	42%	47%	50%	44%	48%	46%	39%	37%
3△	あまり当てはまらない	-1	1%	3%	2%	3%	1%	2%	3%	3%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	1%	0%	1%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	668
評価度 (-2~2)			→ 1.53	1.45	1.37	1.45	1.46	1.45	1.48	1.49



【保護者用】

14 お子さんは、自転車やバスの通学マナーを守っている。

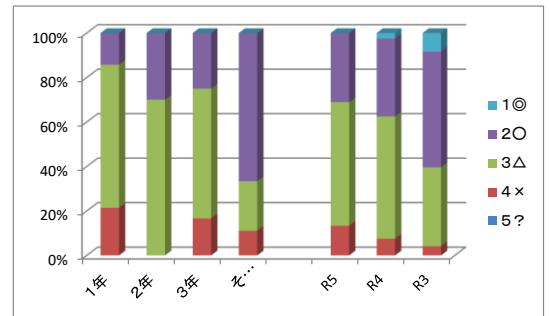
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	35%	38%	34%	30%	41%	36%	49%	45%
2○	だいたい当てはまる	1	62%	57%	61%	65%	56%	60%	48%	51%
3△	あまり当てはまらない	-1	2%	4%	5%	5%	3%	4%	3%	3%
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	538	533
評価度 (-2~2)			→ 1.27	1.30	1.23	1.20	1.34	1.27	1.44	1.37



【職員用】

14 生徒は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%		0%	3%	8%
2○	だいたい当てはまる	1	14%	30%	25%	67%		31%	35%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	64%	70%	58%	22%		56%	55%	35%
4×	当てはまらない	-2	21%	0%	17%	11%		13%	8%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9		45	40	48
評価度 (-2~2)			→ -0.93	-0.40	-0.67	0.22		-0.51	-0.30	0.25



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどの生徒が通学マナーを守っていると回答している。
	年度間比較	昨年度とほぼ同じ評価度である。
	男女間比較	男女どちらも9割強の生徒が良好であると自負している。
	学年間比較	各学年で評価度に大きな差異はない。
保護者用	今年度全体特徴	生徒同様に9割の保護者が子ども達の通学マナーが良好であると回答している。
	年度間比較	昨年度から0.17ポイント評価度が減少した。
	男女間比較	男子の保護者よりも女子の保護者の方が評価度が高い。
	学年間比較	各学年で評価度に大きな差異はない。
職員	今年度全体特徴	「当てはまらない・あまり当てはまらない」と回答している職員が約7割いる。
	年度間比較	昨年度マイナスに転じた評価がさらに低下した。
	学年間比較	1学年の評価度が最も低い。
全体	生徒自身は通学マナーを十分守っていると回答し、保護者も生徒同様に比較的高く評価をしている。一方で職員の多くは生徒の通学マナーはあまり良好ではないと回答しており、生徒との認識に大きな差が見られる。外部から頻繁にクレームが来ている実態や交通事故の実例などを、生徒だけでなく保護者にも周知し、家庭ぐるみで生徒に指導していく取り組みが必要だと考えられる。	

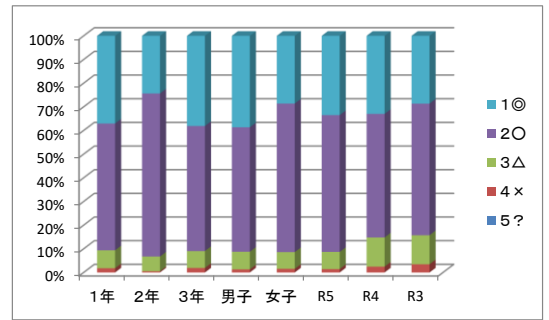
15 進路目標の明確化に向けた適切な指導

C進路

【生徒用】

15 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

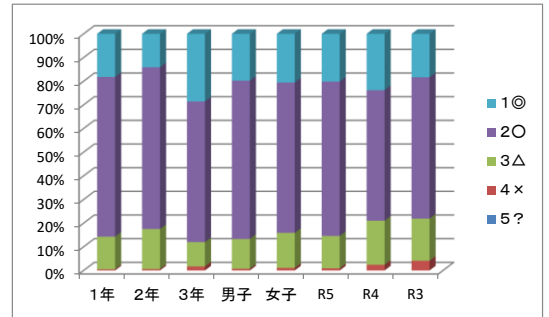
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	37%	24%	38%	39%	29%	33%	33%	29%
2○	だいたい当てはまる	1	54%	69%	53%	53%	63%	58%	52%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	6%	7%	7%	7%	7%	12%	12%
4×	当てはまらない	-2	2%	1%	2%	1%	2%	1%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	667
評価度 (-2~2)			→ 1.17	1.10	1.18	1.20	1.10	1.15	1.01	0.94



【保護者用】

15 お子さんの進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

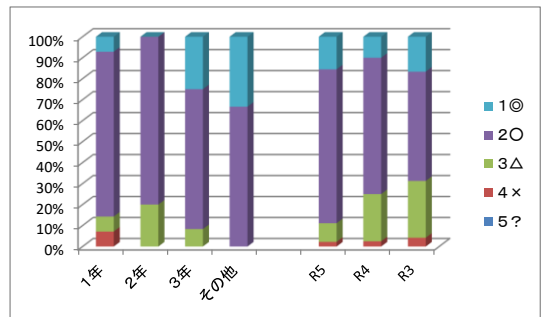
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	18%	14%	29%	20%	21%	20%	24%	18%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	68%	59%	67%	64%	65%	55%	60%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	17%	10%	13%	15%	14%	19%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	2%	1%	1%	1%	2%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	542	534
評価度 (-2~2)			→ 0.89	0.79	1.03	0.92	0.88	0.90	0.79	0.70



【職員用】

15 生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	7%	0%	25%	33%		16%	10%	17%
2○	だいたい当てはまる	1	79%	80%	67%	67%		73%	65%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	20%	8%	0%		9%	23%	27%
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	0%	0%		2%	3%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9		45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.71	0.60	1.08	1.33		0.91	0.58	0.50



生徒用	今年度全体特徴	各学年とも「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた割合が9割を超え、3学年の評価度が最も高かった。
	年度間比較	全体評価は増加傾向にあり、「あまり当てはまらない」の割合が減ってきている。
	男女間比較	男女ともあまり差は無いが、若干男子の方が好意的な評価の割合が高い。
	学年間比較	2学年の割合が他の学年に比べると若干低くなっているがのは例年と同じ傾向である。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と比較するとやや低い評価度となるのは例年と同じ傾向だが、昨年度や一昨年度と比較すると評価度は上昇している。
	年度間比較	生徒と同様に評価度は上昇傾向にある。
	男女間比較	男女ともあまり差異は見られない。
	学年間比較	特に3学年の評価度が最も高くなっている。
職員	今年度全体特徴	昨年度や一昨年度と比較すると職員の評価度が大幅に上昇した。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」と回答する職員の割合が大幅に減少した。
	学年間比較	1学年で「当てはまらない」と回答した職員の割合が7%、2学年で「あまり当てはまらない」と回答した職員の割合が20%となっている。
全体	例年、生徒と保護者の評価と比較して職員の評価が低い傾向にあったが、今年度については評価度が上昇し、保護者とほぼ同じ評価度となった。一方で、特に1学年と2学年では当てはまらないと回答している職員が比較的多く見られることから、進路目標とそのため取り組みについて、学年内で十分に目線合わせを行う必要があると考えられる。	

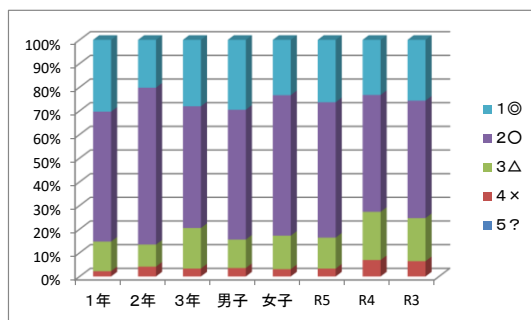
16 模試

C進路

【生徒用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

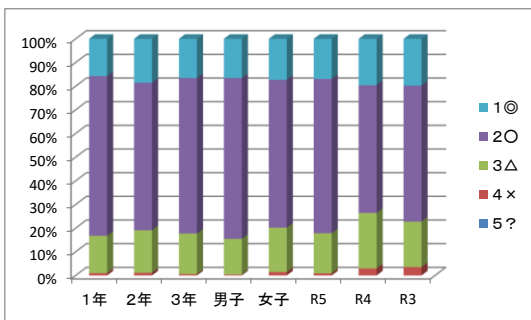
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5	R4	R3	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	30%	20%	28%	30%	23%	26%	23%	26%	
2○	だいたい当てはまる	1	55%	66%	51%	55%	59%	57%	49%	50%	
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	9%	17%	12%	14%	13%	20%	18%	
4×	当てはまらない	-2	2%	4%	3%	4%	3%	3%	7%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	648	665	
評価度 (-2~2)			→	0.99	0.89	0.84	0.95	0.86	0.90	0.62	0.70



【保護者用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

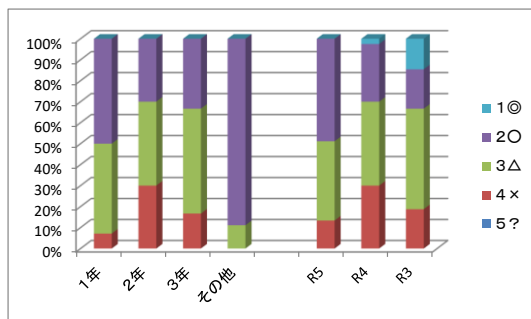
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5	R4	R3	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	16%	19%	17%	17%	17%	17%	20%	20%	
2○	だいたい当てはまる	1	67%	63%	66%	68%	62%	65%	54%	57%	
3△	あまり当てはまらない	-1	16%	18%	17%	15%	19%	17%	23%	19%	
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	1%	0%	1%	1%	3%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	541	536	
評価度 (-2~2)			→	0.81	0.80	0.81	0.85	0.75	0.80	0.64	0.71



【職員用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5	R4	R3	
			1年	2年	3年	その他	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%	0%	3%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	30%	33%	89%	49%	28%	19%	
3△	あまり当てはまらない	-1	43%	40%	50%	11%	38%	40%	48%	
4×	当てはまらない	-2	7%	30%	17%	0%	13%	30%	19%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9	45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	-0.07	-0.70	-0.50	0.78	-0.16	-0.68	-0.38



生徒用	今年度全体特徴	模擬試験が学力の養成に役立っていると感じている生徒の割合は8割台に上昇している。
	年度間比較	年度を経るごとに評価度は上昇している。
	男女間比較	男子の方が女子に比較して評価が高くなっており、模擬試験に対する捉え方の違いが出ている。
	学年間比較	学年を経るに従って評価度が減っている。
保護者用	今年度全体特徴	模擬試験が学力の養成に役立っていると感じている保護者の割合は生徒と同様に8割台に上昇している。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも増加した。
	男女間比較	男子の保護者の評価度の方が女子の保護者よりも高い。
	学年間比較	学年間で評価度に違いは見られない。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者と大きく異なり、職員の半数が、模擬試験が学力養成に役立っていないと感じている。
	年度間比較	昨年・一昨年と比較して評価度は上昇しており、「当てはまらない」と答えた割合は昨年度から大きく減少した。
	学年間比較	2学年で当てはまらないの割合が30%と高く、70%の職員が学力養成に役立っていないと捉えている。
全体	例年模擬試験に関する評価は生徒・保護者と職員の間で大きな違いが出ており、特に職員の否定的な意見が特徴的である。模擬試験はそれだけで学力を底上げるツールではなく、事前・事後指導やそれぞれの時期での課題意識を生徒に浸透させること、あるいは模試結果から生徒の傾向をつかむ教員のプロファイリング能力を向上させることなどとセットで捉えるべきものであるが、評価結果からはそのような模試の活用の仕方が職員間で共有されていない様子が窺われる。進路指導のあり方とともに、今後職員で共通理解を得ていく必要があるだろう。	

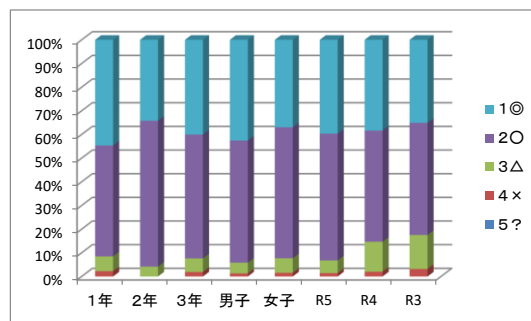
17 災害・非常時の避難方法や連絡方法

F総務

【生徒用】

17 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

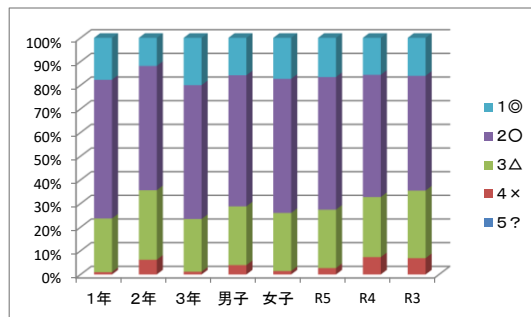
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	45%	34%	40%	43%	37%	40%	38%	35%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	62%	52%	52%	55%	54%	47%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	4%	6%	5%	6%	5%	13%	14%
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	2%	1%	2%	1%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	647	667
評価度 (-2~2)			→ 1.25	1.26	1.23	1.30	1.20	1.25	1.07	0.97



【保護者用】

17 保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

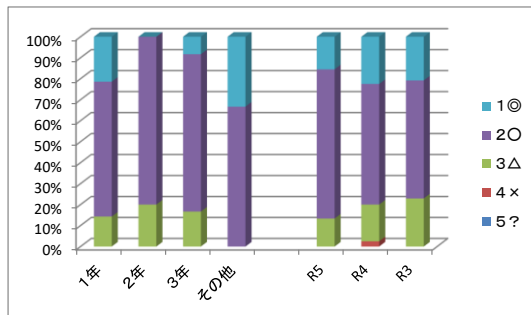
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	18%	12%	20%	16%	17%	17%	16%	16%
2○	だいたい当てはまる	1	59%	53%	57%	55%	57%	56%	52%	49%
3△	あまり当てはまらない	-1	23%	29%	22%	25%	25%	25%	25%	29%
4×	当てはまらない	-2	1%	6%	1%	4%	1%	3%	7%	7%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	544	536
評価度 (-2~2)			→ 0.69	0.34	0.72	0.54	0.64	0.59	0.43	0.38



【職員用】

17 生徒・保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	21%	0%	8%	33%		16%	23%	21%
2○	だいたい当てはまる	1	64%	80%	75%	67%		71%	58%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	20%	17%	0%		13%	18%	23%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	3%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9		45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.93	0.60	0.75	1.33		0.89	0.80	0.75



生徒用	今年度全体特徴	90%以上の生徒が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と回答している。
	年度間比較	全体の評価度は通増している。
	男女間比較	男子よりも女子の方が評価度が高い。
	学年間比較	どの学年も評価度は高い。
保護者用	今年度全体特徴	70%を超える保護者が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と回答している。
	年度間比較	当てはまると回答した保護者は、昨年度から0.16%増加した。
	男女間比較	女子生徒の保護者の方が評価度が高くなっている。
	学年間比較	2学年の評価度が他学年と比較して低くなっている。
職員	今年度全体特徴	87%の職員が、「生徒・保護者に対して、避難方法や連絡方法は伝えられている」と回答している。
	年度間比較	昨年度よりも「生徒・保護者に対して、避難方法や連絡方法は伝えられている」との回答が0.09ポイント増加した。
	学年間比較	1学年の評価度が最も高かった。
全体	生徒・保護者・職員全てで評価度は上昇しており、災害時や非常時の避難方法や連絡方法についての周知は進んでいると考えられる。引き続き周知の徹底を継続していく必要がある。	

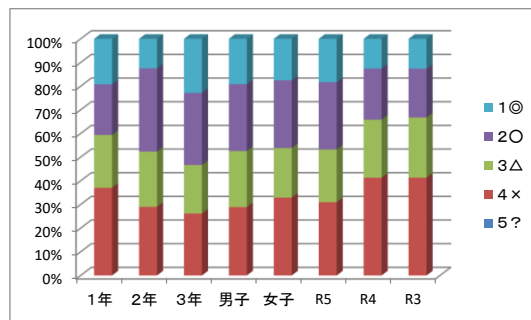
18 図書館

F総務

【生徒用】

18 自分は図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

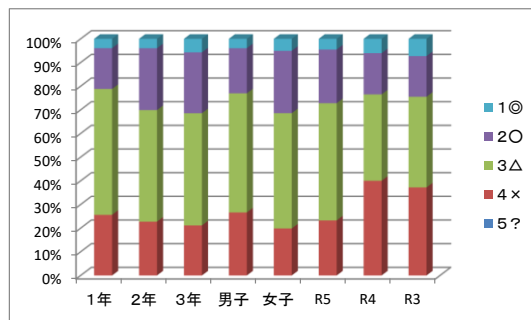
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	19%	12%	23%	19%	18%	18%	13%	13%	
2○	だいたい当てはまる	1	21%	35%	30%	28%	29%	28%	22%	21%	
3△	あまり当てはまらない	-1	22%	23%	20%	24%	21%	22%	25%	25%	
4×	当てはまらない	-2	37%	29%	26%	29%	33%	31%	41%	41%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	644	665	
評価度 (-2~2)			→	-0.37	-0.21	0.03	-0.15	-0.23	-0.19	-0.60	-0.62



【保護者用】

18 お子さんは、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

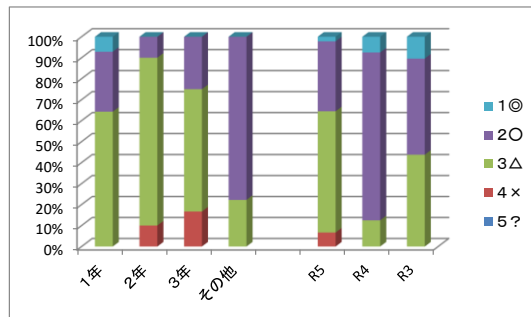
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	4%	4%	6%	4%	5%	5%	6%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	17%	26%	26%	19%	26%	23%	17%	17%	
3△	あまり当てはまらない	-1	53%	47%	47%	50%	49%	50%	37%	38%	
4×	当てはまらない	-2	26%	23%	21%	27%	20%	23%	40%	37%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	545	535	
評価度 (-2~2)			→	-0.79	-0.58	-0.53	-0.77	-0.52	-0.64	-0.87	-0.81



【職員用】

18 生徒は、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	7%	0%	0%	0%	2%	8%	10%	
2○	だいたい当てはまる	1	29%	10%	25%	78%	33%	80%	46%	
3△	あまり当てはまらない	-1	64%	80%	58%	22%	58%	13%	44%	
4×	当てはまらない	-2	0%	10%	17%	0%	7%	0%	0%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9	45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	-0.21	-0.90	-0.67	0.56	-0.33	0.83	0.23



生徒用	今年度全体特徴	46%の生徒が図書館を利用していると回答しているが、全体としてはマイナスの評価度となっている。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.41ポイント上昇している。
	男女間比較	男子より女子の方が利用していると回答している生徒が若干多い。
	学年間比較	学年別では3学年の利用が最も多い。
保護者用	今年度全体特徴	生徒や職員と比較すると、保護者の評価度が最も低くなっている。
	年度間比較	評価度はマイナスながらも昨年度より微増している。
	男女間比較	女子の保護者の方が評価度が高い。
	学年間比較	学年が上がるにつれて評価度は逡増しているが、全体的にはマイナス評価である。
職員	今年度全体特徴	昨年度と比較して生徒が図書館を利用していると考える職員の割合は大幅に減少した。
	年度間比較	昨年度88%の職員が生徒は「図書館を利用している」と回答していたが、今年度は35%と急落した。
	学年間比較	職員は全体的に生徒の図書館利用が少ないと認識しているが、特に2学年では9割の職員がそう考えている。
全体	図書館利用については生徒・保護者・職員のいずれもマイナス評価であるが、その中において生徒と保護者の評価が少しずつ改善しているのに対し、職員の評価は今年度急落した。 総探の授業等での活用、学習スペースとしての利用など、様々な場面で生徒の図書館利用を促していくべきである。	

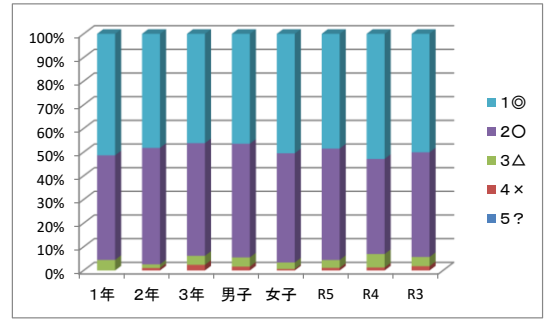
19 清掃活動等

D保厚

【生徒用】

19 清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

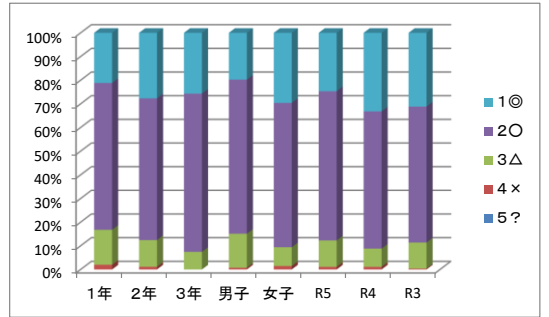
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	51%	48%	46%	46%	50%	48%	53%	50%
2○	だいたい当てはまる	1	44%	49%	48%	48%	46%	47%	40%	44%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	2%	4%	4%	3%	3%	6%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	2%	2%	1%	1%	1%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	647	667
評価度 (-2~2)			→ 1.42	1.42	1.31	1.34	1.43	1.39	1.38	1.37



【保護者用】

19 お子さんは、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

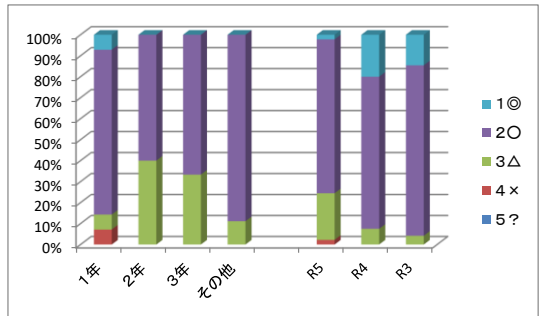
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	21%	28%	26%	20%	30%	25%	33%	31%
2○	だいたい当てはまる	1	62%	60%	67%	65%	61%	63%	58%	57%
3△	あまり当てはまらない	-1	15%	11%	7%	14%	8%	11%	8%	11%
4×	当てはまらない	-2	2%	1%	0%	1%	1%	1%	1%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	545	536
評価度 (-2~2)			→ 0.86	1.02	1.11	0.89	1.09	0.99	1.14	1.08



【職員用】

19 生徒は、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	7%	0%	0%	0%	2%	20%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	79%	60%	67%	89%	73%	73%	81%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	40%	33%	11%	22%	8%	4%
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	0%	0%	2%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 0.71	0.20	0.33	0.78	0.51	1.05	1.06



生徒用	今年度全体特徴	90%近くの生徒が、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしているという意識をもっている。
	年度間比較	評価度は昨年度、一昨年度とほぼ同じである。
	男女間比較	女子の評価度がわずかに高い。
	学年間比較	1・2学年に比べて3学年の評価度がわずかに低い。
保護者用	今年度全体特徴	自分の子供が役割を果たしているという意識は昨年から少し下がっている。
	年度間比較	昨年度まで年々評価が上昇していたが、今年度は評価度がわずかに下がった。
	男女間比較	女子の保護者の評価度が高い傾向にある。
	学年間比較	学年が上がるにつれて評価度が上がっている。
職員	今年度全体特徴	生徒たちが学校における自分の役割分担をきちんとこなしていると感じている職員が今年度は急減した。
	年度間比較	昨年度より0.54の減少と、大幅に下落した。
	学年間比較	1年生の評価が高いが、2・3学年で評価が低くなっている。
全体	生徒たちは清掃活動や自分の役割分担をきちんとこなしていると前向きに捉えている。一方で教員の評価は低く、特に2・3年での評価が低くなっている。制服や頭髪など、常識や道徳に関わる項目全般でこの生徒・保護者の評価と職員の評価の間の乖離が見られる。掃除の仕方や役割の務め方など、根気強く指導する必要がある。	

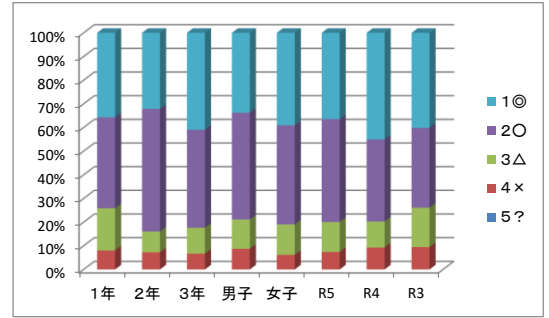
20 スクールカウンセリング

D保厚

【生徒用】

20 スクールカウンセリングの制度を知っている。

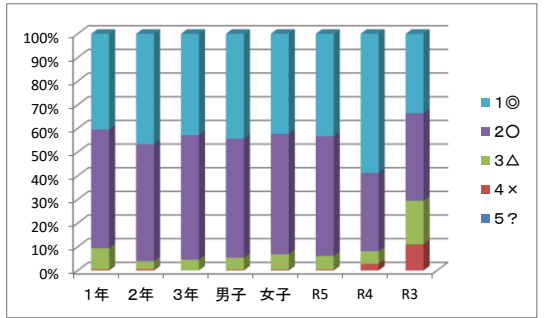
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	36%	32%	41%	34%	39%	36%	45%	40%
2○	だいたい当てはまる	1	38%	52%	41%	45%	42%	43%	35%	34%
3△	あまり当てはまらない	-1	18%	9%	11%	12%	13%	13%	11%	17%
4×	当てはまらない	-2	8%	7%	7%	9%	6%	7%	9%	9%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	646	667
評価度 (-2~2)			→ 0.76	0.93	0.99	0.83	0.95	0.89	0.95	0.79



【保護者用】

20 スクールカウンセリングの制度が保護者に伝えられている。

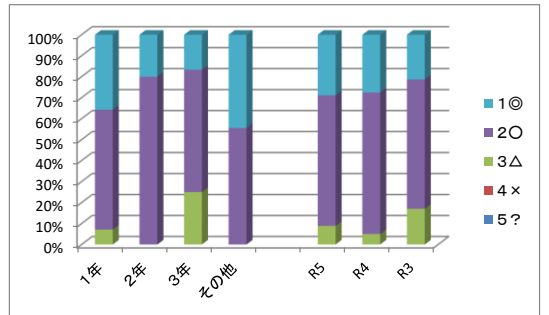
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	40%	47%	43%	44%	42%	43%	59%	34%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	50%	53%	50%	51%	51%	33%	37%
3△	あまり当てはまらない	-1	9%	3%	5%	5%	6%	6%	5%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	11%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	538	534
評価度 (-2~2)			→ 1.21	1.39	1.34	1.33	1.28	1.31	1.40	0.64



【職員用】

20 生徒・保護者に、スクールカウンセリングの制度は浸透している。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	36%	20%	17%	44%	29%	28%	21%
2○	だいたい当てはまる	1	57%	80%	58%	56%	62%	68%	62%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	0%	25%	0%	9%	5%	17%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	47
評価度 (-2~2)			→ 1.21	1.20	0.67	1.44	1.11	1.18	0.87



生徒用	今年度全体特徴	スクールカウンセリングの認知度は、令和3年以降は8割程度で維持されている。
	年度間比較	カウンセリング制度の認知度は、令和2年度に60%であったが、3年以降は80%で維持されている。
	男女間比較	男子よりも女子の認知度が0.12ポイント高い。
	学年間比較	学年が上がるにつれて認知度が上がる傾向は今年度も同じであった。
保護者用	今年度全体特徴	スクールカウンセリングの認知度は昨年度に続き90%を超えている。
	年度間比較	R2-60%、R3-71%、R4-92%と急激に上昇し、今年度も94%と高い水準を維持している。
	男女間比較	生徒の傾向と逆に男子の保護者の評価度の方が高くなっている。
	学年間比較	1学年で僅かに評価度が低い傾向がある。
職員	今年度全体特徴	職員の90%以上が、スクールカウンセリングが生徒や各家庭に浸透していると認識している。
	年度間比較	令和4年度に引き続き評価度は高い。
	学年間比較	3学年の評価度が他学年に比べて低くなっている。
全体	月ごとに、スクールカウンセリングの日程を一斉メールなどを利用して周知している。その成果とが出ているものと見られる。また、1年生からのカウンセリング利用も増加傾向にあり、それらの需要の高まりも認知度の上昇に大きく影響している可能性がある。	

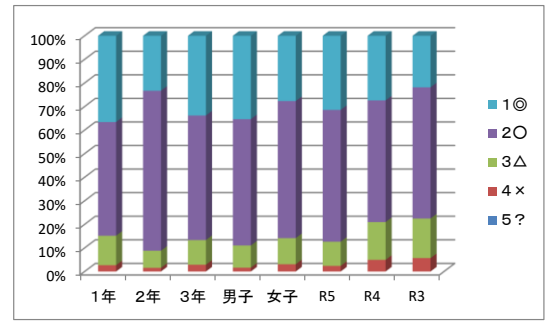
21 教育相談の体制

D保厚

【生徒用】

21 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。

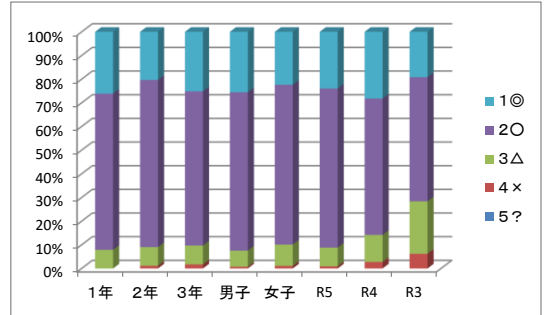
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	37%	23%	34%	35%	28%	31%	27%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	68%	53%	54%	58%	56%	52%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	7%	10%	9%	11%	10%	16%	17%
4×	当てはまらない	-2	3%	2%	3%	2%	3%	2%	5%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	649	668
評価度 (-2~2)			→ 1.04	1.04	1.04	1.12	0.96	1.04	0.81	0.71



【保護者用】

21 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

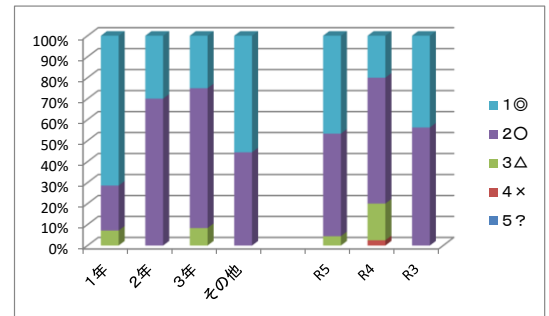
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	26%	20%	25%	26%	22%	24%	28%	19%
2○	だいたい当てはまる	1	66%	71%	65%	67%	68%	67%	58%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	8%	8%	7%	9%	8%	11%	22%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	2%	1%	1%	1%	3%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	543	532
評価度 (-2~2)			→ 1.10	1.01	1.04	1.10	1.01	1.05	0.97	0.56



【職員用】

21 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	71%	30%	25%	56%		47%	20%	44%
2○	だいたい当てはまる	1	21%	70%	67%	44%		49%	60%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	0%	8%	0%		4%	18%	0%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	3%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9		45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 1.57	1.30	1.08	1.56		1.38	0.78	1.44



生徒用	今年度全体特徴	SCや担任教諭を中心とした相談体制が、ある程度充実してきたと考えられる。
	年度間比較	「よく当てはまる」と回答した生徒の割合が増加傾向を示しており、相談に応じてくれる体制に対する満足度が高まっている。
	男女間比較	男子の方が女子よりも、相談体制に対する満足度が低い傾向が見られる。
	学年間比較	全学年で評価度は全く同じであった。
保護者用	今年度全体特徴	今年度は相談体制の充実度に対して、保護者の満足度も上がっている。
	年度間比較	この3年間は年度ごとに評価度が右肩上がりであり、相談体制への満足度が上がっていると考えられる。
	男女間比較	生徒の男女間比較と同様の傾向が出ており、男子の保護者の方が評価度が高い。
	学年間比較	学年間での差異はほとんどない。
職員	今年度全体特徴	生徒や保護者の評価度よりも職員の評価度が高くなっている。
	年度間比較	昨年度は評価度が下がったが、今年度は一昨年と同様の水準に戻っている。
	学年間比較	3学年で評価度が低い傾向があるのは例年通りである。
全体	教育相談体制の満足度は生徒・保護者・職員の全てで高まっている。生徒や保護者の悩みに対応する体制の充実やスピード感の高まりが生徒・保護者・職員に実感されていると考えられる。	

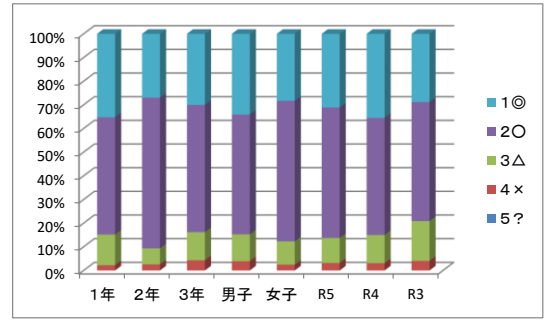
22 健康診断

D保厚

【生徒用】

22 健康診断等の結果は、自分の健康管理に活かされている。

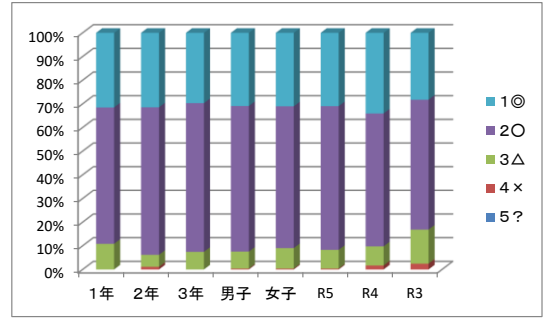
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	35%	27%	30%	34%	28%	31%	35%	29%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	64%	54%	51%	59%	55%	50%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	7%	12%	11%	10%	11%	12%	17%
4×	当てはまらない	-2	2%	3%	4%	4%	2%	3%	3%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	648	666
評価度 (-2~2)			→ 1.03	1.06	0.93	1.00	1.01	1.00	1.02	0.83



【保護者用】

22 健康診断等の結果は、お子さんの健康管理に活かされている。

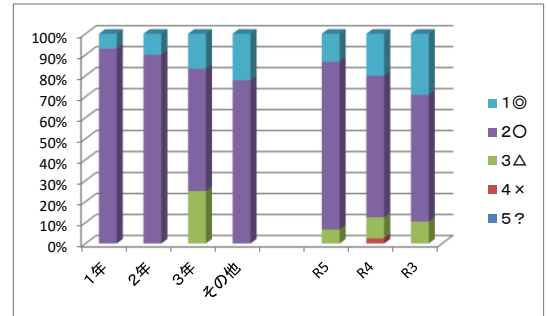
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	32%	32%	30%	31%	31%	31%	34%	28%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	63%	63%	62%	60%	61%	56%	55%
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	5%	7%	7%	9%	8%	8%	14%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	543	534
評価度 (-2~2)			→ 1.10	1.19	1.15	1.15	1.13	1.14	1.13	0.92



【職員用】

22 健康診断等の結果は、生徒の健康管理に活かされている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	7%	10%	17%	22%	13%	20%	29%
2○	だいたい当てはまる	1	93%	90%	58%	78%	80%	68%	60%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	25%	0%	7%	10%	10%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%	0%	3%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 1.07	1.10	0.67	1.22	1.00	0.93	1.08



生徒用	今年度全体特徴	概ね健康診断が健康管理に活かされていると考えられている。
	年度間比較	健康診断の結果が健康管理に活かされていると考えている生徒の割合は昨年とほぼ同じである。
	男女間比較	男女間に差はみられないのも昨年度と同じ傾向である。
	学年間比較	3学年でやや評価度が下がっているが、概ね高い評価度である。
保護者用	今年度全体特徴	90%以上の保護者が、健康診断が健康管理に活かされていると考えている。
	年度間比較	健康診断の結果が健康管理に活かされていると評価している保護者の割合は昨年度とほぼ同じである。
	男女間比較	男女間に差はみられない。
	学年間比較	学年間で大きな評価度の差は見られない。
職員	今年度全体特徴	概ね健康診断が健康管理に活かされていると考えられている。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計については、昨年同様となっている。
	学年間比較	3学年の評価度がやや低かった。
全体	学校としては、健康診断から医療機関につなげることは生徒が学校生活を送るうえで重要であると考えており、健康診断の結果については、速やかに保護者に通知し、受診勧告を行ってきた。その成果が表れていると考えられる。	

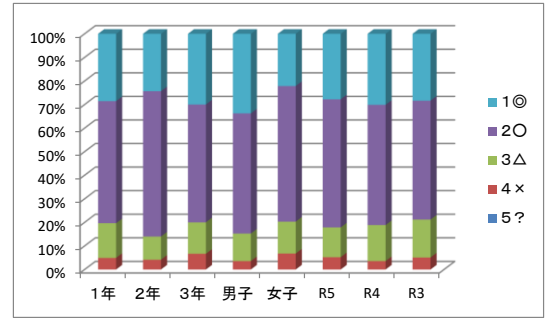
23 環境整備

D保厚

【生徒用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

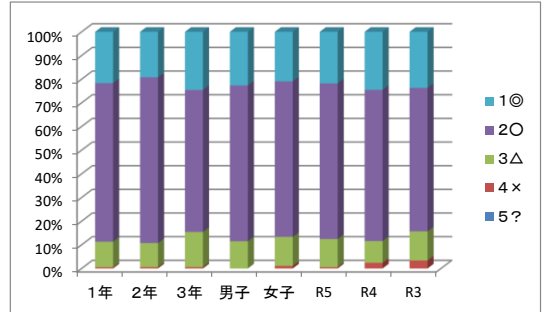
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	29%	24%	30%	34%	22%	28%	30%	28%
2○	だいたい当てはまる	1	52%	62%	50%	51%	58%	54%	51%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	15%	10%	13%	12%	14%	13%	15%	16%
4×	当てはまらない	-2	5%	4%	7%	4%	7%	5%	4%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	647	666
評価度 (-2~2)			→ 0.84	0.92	0.83	1.00	0.75	0.87	0.89	0.81



【保護者用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

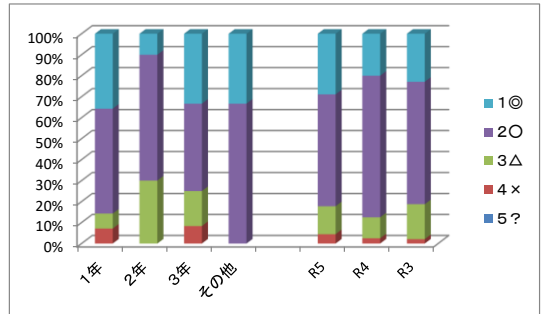
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	22%	19%	25%	23%	21%	22%	24%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	70%	60%	66%	66%	66%	64%	61%
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	10%	15%	12%	12%	12%	9%	12%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	0%	1%	1%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	543	536
評価度 (-2~2)			→ 0.99	0.97	0.93	1.00	0.93	0.96	0.99	0.89



【職員用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	36%	10%	33%	33%		29%	20%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	60%	42%	67%		53%	68%	58%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	30%	17%	0%		13%	10%	17%
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	8%	0%		4%	3%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9		45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 1.00	0.50	0.75	1.33		0.89	0.93	0.83



生徒用	今年度全体特徴	昨年度に引き続き評価度は高くなっている。
	年度間比較	ここ数年は評価度は高い水準で推移している。
	男女間比較	男子の数値が0.25ポイント高い。
	学年間比較	各学年で評価度は大きく変わらない。
保護者用	今年度全体特徴	全体的に概ね満足しているといえる。
	年度間比較	昨年度とほぼ同水準で推移している。
	男女間比較	男子の数値がやや高い。
	学年間比較	各学年で評価度は大きく変わらない。
職員	今年度全体特徴	昨年度とほぼ同水準で推移している。
	年度間比較	昨年度とほぼ同水準で推移している。
	学年間比較	2学年と他学年で大きく差があり、環境整備等の不備の改善などを図りたい。
全体	教室にエアコンを導入し、授業に集中しやすい環境を整えることができた。	

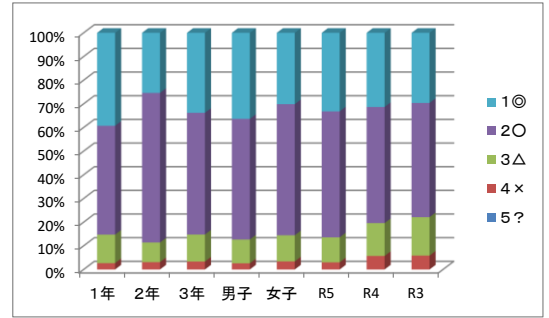
24 有意義な学校行事

F総務

【生徒用】

24 自分にとって、有意義な学校行事がある。

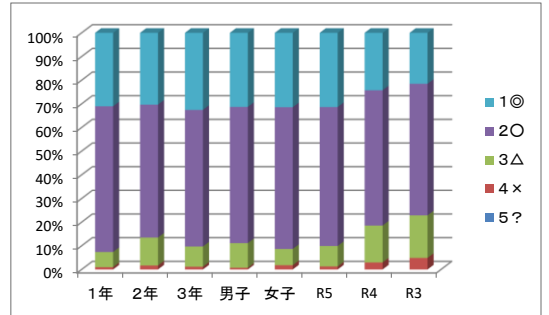
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	39%	25%	34%	36%	30%	33%	31%	30%
2○	だいたい当てはまる	1	46%	63%	51%	51%	55%	53%	49%	48%
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	8%	11%	10%	11%	11%	14%	16%
4×	当てはまらない	-2	3%	3%	3%	3%	3%	3%	6%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	648	665
評価度 (-2~2)			→ 1.07	0.99	1.01	1.08	0.98	1.03	0.86	0.80



【保護者用】

24 お子さんにとって、有意義な学校行事がある。

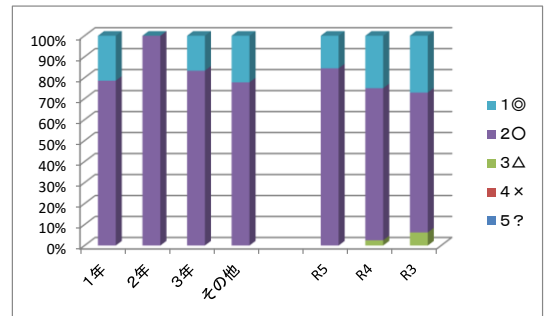
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	31%	31%	33%	31%	31%	31%	24%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	62%	56%	58%	58%	60%	59%	57%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	12%	9%	10%	7%	9%	16%	18%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	1%	1%	2%	1%	3%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	544	534
評価度 (-2~2)			→ 1.15	1.02	1.12	1.08	1.12	1.10	0.84	0.71



【職員用】

24 生徒にとって、有意義な学校行事がある。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	21%	0%	17%	22%		16%	25%	27%
2○	だいたい当てはまる	1	79%	100%	83%	78%		84%	73%	67%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	0%		0%	3%	6%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9		45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 1.21	1.00	1.17	1.22		1.16	1.20	1.15



生徒用	今年度全体特徴	88%の生徒が、「有意義な学校行事がある」と回答している。
	年度間比較	令和4年度と比較して、評価度が0.17ポイント増加した。
	男女間比較	昨年度と同様に、男子の方が評価度が高い傾向にある。
	学年間比較	昨年度は1学年の評価度が特に高かったが、今年度は各学年評価度にそれほど大きな差はない。
保護者用	今年度全体特徴	90%の保護者が、評価する回答をしている。
	年度間比較	昨年度よりも評価度が0.26ポイント上昇している。
	男女間比較	大きな差はない。
	学年間比較	評価度は2学年でやや低くなっている。
職員	今年度全体特徴	全職員が「有意義な学校行事がある」と評価している。
	年度間比較	令和4年度よりわずかに下がったが、例年通りの高い評価である。
	学年間比較	どの学年でも評価が高い。
全体	生徒・保護者・職員ともに評価が高かった。コロナ禍での自粛が明け、以前と同様に行事を実施できるようになったことが高く評価されていると考えられる。	

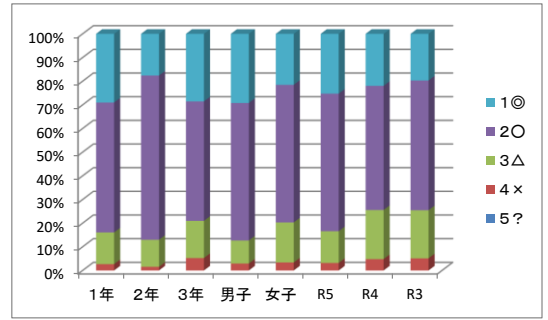
25 特色ある学校づくり

H全体

【生徒用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

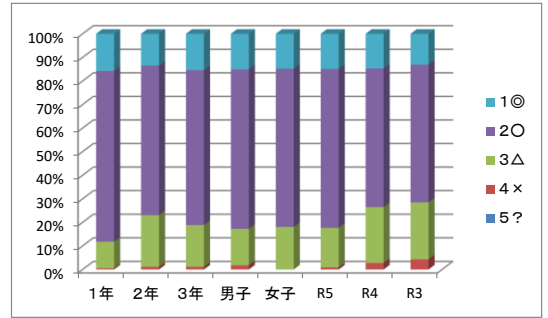
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	29%	18%	29%	29%	22%	25%	22%	20%	
2○	だいたい当てはまる	1	55%	69%	50%	58%	58%	58%	52%	55%	
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	11%	16%	10%	17%	13%	21%	20%	
4×	当てはまらない	-2	3%	2%	5%	3%	3%	3%	5%	5%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	646	664	
評価度 (-2~2)			→	0.94	0.90	0.81	1.01	0.78	0.89	0.66	0.64



【保護者用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

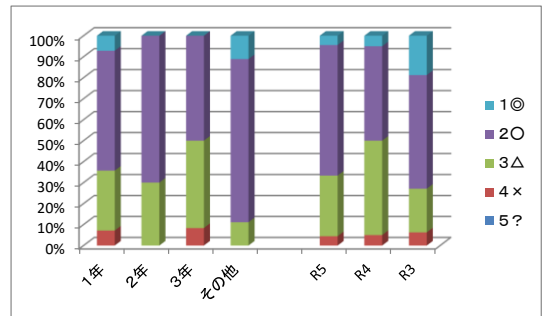
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	16%	14%	15%	15%	15%	15%	15%	13%	
2○	だいたい当てはまる	1	72%	64%	66%	68%	67%	67%	59%	58%	
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	22%	18%	15%	18%	17%	24%	24%	
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	2%	0%	1%	3%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	544	534	
評価度 (-2~2)			→	0.92	0.67	0.77	0.79	0.79	0.79	0.59	0.52



【職員用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	7%	0%	0%	11%	4%	5%	19%	
2○	だいたい当てはまる	1	57%	70%	50%	78%	62%	45%	54%	
3△	あまり当てはまらない	-1	29%	30%	42%	11%	29%	45%	21%	
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	8%	0%	4%	5%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9	45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	0.29	0.40	-0.08	0.89	0.33	0.00	0.58



生徒用	今年度全体特徴	82%の生徒が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」(1・2)と回答している。
	年度間比較	この数年で評価は大幅に上昇しており、今年度は昨年度からさらに0.23ポイント上昇した。
	男女間比較	女子の評価度に比べて男子の評価度が高い。
	学年間比較	昨年と同様に、1学年の評価度が最も高い。
保護者用	今年度全体特徴	82%の保護者が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」(1・2)と回答している。
	年度間比較	この数年で評価は大幅に上昇しており、今年度は昨年度からさらに0.20ポイント上昇した。
	男女間比較	男子・女子いずれの保護者も同等の評価度である。
	学年間比較	1学年保護者の評価度が最も高い。
職員	今年度全体特徴	66%の職員が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」(1・2)と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員の割合が16%上昇した。
	学年間比較	3学年の評価度が低い。
全体	生徒・保護者・職員いずれの評価度も上昇している。今後も学校として地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいると生徒・保護者・職員が認識でき、モチベーションをあげる取組みを実践する必要がある。	

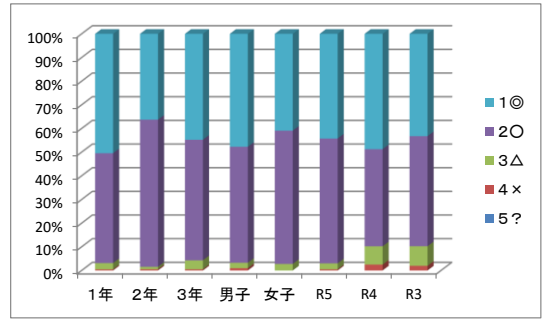
26 学校情報の保護者への伝達

H全体

【生徒用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

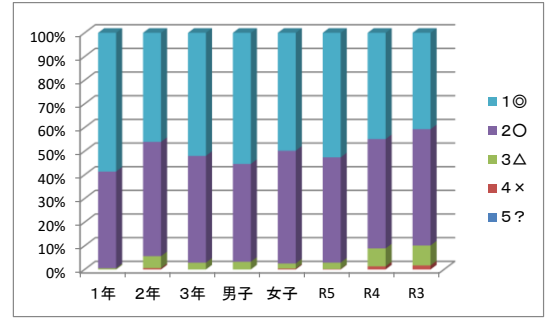
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	50%	36%	45%	48%	41%	44%	49%	43%
2○	だいたい当てはまる	1	46%	62%	51%	49%	56%	53%	41%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	1%	4%	2%	3%	3%	8%	8%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	1%	0%	0%	2%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			224	193	216	308	325	633	646	664
評価度 (-2~2)			→ 1.44	1.33	1.36	1.40	1.35	1.38	1.26	1.21



【保護者用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

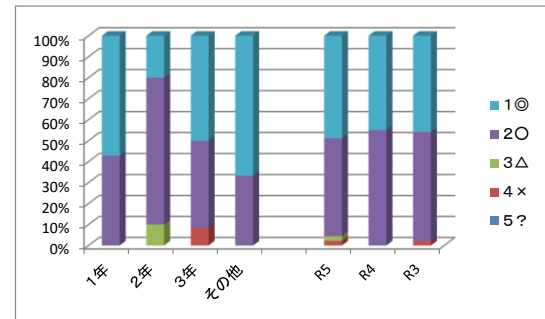
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	59%	46%	52%	55%	50%	53%	45%	41%
2○	だいたい当てはまる	1	41%	49%	45%	41%	48%	45%	46%	49%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	5%	3%	3%	2%	3%	8%	8%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			203	177	175	278	277	555	539	533
評価度 (-2~2)			→ 1.58	1.35	1.46	1.49	1.44	1.47	1.26	1.19



【職員用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	57%	20%	50%	67%	49%	45%	46%
2○	だいたい当てはまる	1	43%	70%	42%	33%	47%	55%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	10%	0%	0%	2%	0%	0%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%	2%	0%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			14	10	12	9	45	40	48
評価度 (-2~2)			→ 1.57	1.00	1.25	1.67	1.38	1.45	1.40



生徒用	今年度全体特徴	生徒の97%が適切に伝えられていると回答している。
	年度間比較	評価度は年度を追うごとに上昇している。
	男女間比較	大きな差はみられない。
	学年間比較	1学年の評価度がやや高い。
保護者用	今年度全体特徴	保護者の98%が適切に伝えられていると回答している。
	年度間比較	大きな差はみられない。
	男女間比較	大きな差はみられない。
	学年間比較	1学年の評価度がやや高い。
職員	今年度全体特徴	96%の職員が適切に伝えられていると回答している。
	年度間比較	昨年度からわずかに下がった。昨年度は「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答して職員はいなかったが、今年度はそれぞれ2%ずつ増えている。
	学年間比較	2学年の評価度がやや低い。また、3学年の中で8%の職員が「当てはまらない」と回答している。
全体	一斉メールと学校だよりに加えて、ここ数年はGoogle Classroomを使った情報配信も行っている。このような取り組みが生徒や保護者からの高評価につながっているのではないかと考える。一方で、昨年度は見られなかった職員の中の否定的な回答が今年度は増えている。情報発信について、職員の間での共通理解が必要である。	

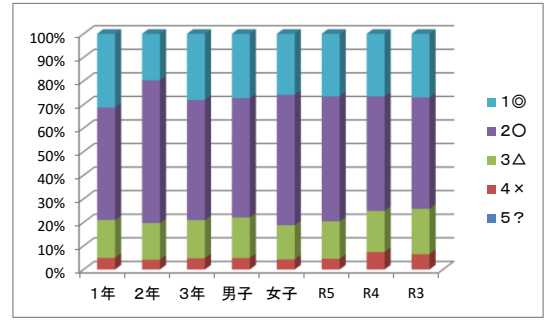
27 校舎やグランドなどの施設・設備の整備

G事務

【生徒用】

27 校舎やグランドなどの施設や設備は整備されている。

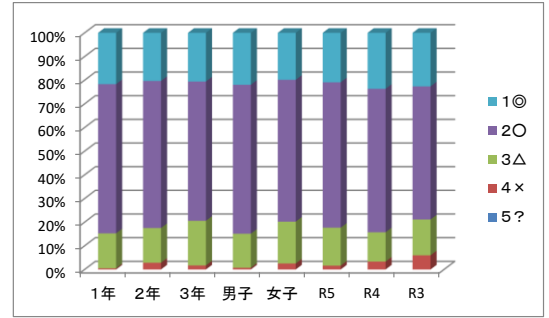
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	31%	20%	28%	27%	26%	27%	27%	27%	
2○	だいたい当てはまる	1	48%	61%	51%	51%	55%	53%	49%	47%	
3△	あまり当てはまらない	-1	16%	16%	16%	17%	14%	16%	17%	19%	
4×	当てはまらない	-2	5%	4%	5%	5%	4%	5%	7%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	644	664	
評価度 (-2~2)			→	0.84	0.76	0.81	0.78	0.84	0.81	0.69	0.69



【保護者用】

27 校舎やグランドなどの施設や設備は整備されている。

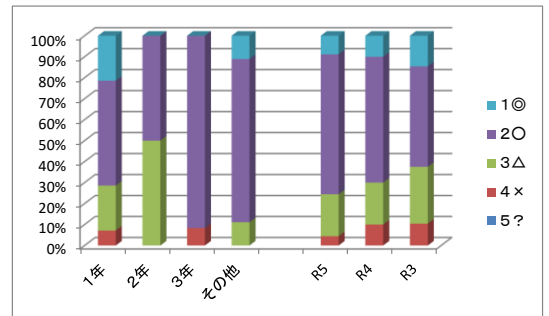
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	22%	20%	21%	22%	20%	21%	24%	23%	
2○	だいたい当てはまる	1	63%	62%	59%	63%	60%	61%	61%	56%	
3△	あまり当てはまらない	-1	15%	15%	19%	14%	18%	16%	12%	15%	
4×	当てはまらない	-2	0%	3%	2%	1%	3%	2%	3%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	541	535	
評価度 (-2~2)			→	0.91	0.82	0.78	0.91	0.77	0.84	0.89	0.74



【職員用】

27 校舎やグランドなどの施設や設備は整備されている。

no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	21%	0%	0%	11%		9%	10%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	50%	92%	78%		67%	60%	48%	
3△	あまり当てはまらない	-1	21%	50%	0%	11%		20%	20%	27%	
4×	当てはまらない	-2	7%	0%	8%	0%		4%	10%	10%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9		45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	0.57	0.00	0.75	0.89		0.56	0.40	0.29



生徒用	今年度全体特徴	生徒の81%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度よりも評価度が0.12上昇した。
	男女間比較	女子の評価度が男子よりもわずかに高い。
	学年間比較	学年間で大きな差はない。
保護者用	今年度全体特徴	保護者の82%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度よりもわずかに評価度が下がった。
	男女間比較	男子の保護者の評価の方が女子の保護者よりもわずかに高い。
	学年間比較	1学年の評価が高い。
職員	今年度全体特徴	職員の76%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価が高い。
	学年間比較	他学年と比較して2学年の評価が特に低くなっている。
全体	生徒・保護者では学年間で大きな差は見られなかったが、職員の評価では2学年で否定的な回答が多くなっている。整備すべき部分を具体的に挙げながら、生徒が安全かつ快適な学校生活を送ることができるように対応していきたい。	

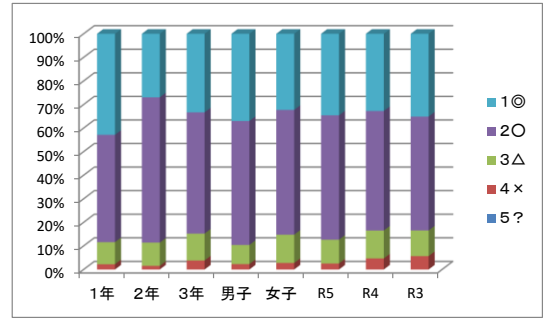
28 学校生活の充実度

H全体

【生徒用】

28 自分にとって、学校生活は充実している。

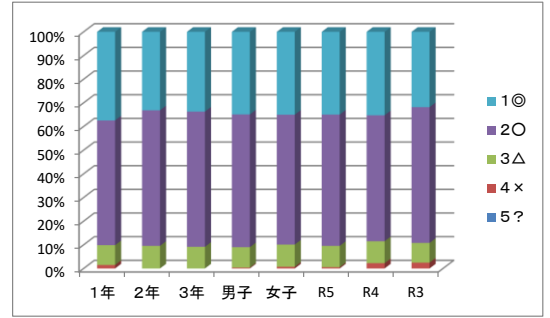
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	43%	27%	33%	37%	32%	35%	33%	35%	
2○	だいたい当てはまる	1	46%	62%	51%	53%	53%	53%	51%	48%	
3△	あまり当てはまらない	-1	9%	10%	11%	8%	12%	10%	12%	11%	
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	4%	2%	3%	3%	5%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			224	193	216	308	325	633	641	652	
評価度 (-2~2)			→	1.17	1.03	0.99	1.14	1.00	1.07	0.95	0.96



【保護者用】

28 お子さんの学校生活は充実している。

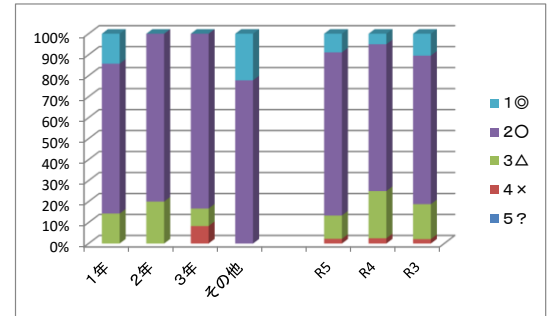
no	選択肢	評価値	R5 (%)					R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	37%	33%	34%	35%	35%	35%	35%	32%	
2○	だいたい当てはまる	1	53%	58%	57%	56%	55%	55%	53%	57%	
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	10%	9%	9%	9%	9%	9%	8%	
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			203	177	175	278	277	555	539	528	
評価度 (-2~2)			→	1.16	1.15	1.15	1.17	1.14	1.15	1.10	1.08



【職員用】

28 生徒の学校生活は充実している。

no	選択肢	評価値	R5 (%)				R5 計	R4 計	R3 計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	14%	0%	0%	22%	9%	5%	10%	
2○	だいたい当てはまる	1	71%	80%	83%	78%	78%	70%	71%	
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	20%	8%	0%	11%	23%	17%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%	2%	3%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			14	10	12	9	45	40	48	
評価度 (-2~2)			→	0.86	0.60	0.58	1.22	0.80	0.53	0.71



生徒用	今年度全体特徴	88%が充実していると回答している。
	年度間比較	この3年間でわずかず上昇している。
	男女間比較	女子の評価度が高い。
	学年間比較	1学年の評価度が比較的高い。
保護者用	今年度全体特徴	90%の保護者が充実していると回答している。
	年度間比較	若干評価が上昇している。
	男女間比較	大きな差はみられない。
	学年間比較	学年間で大きな評価度の差は見られない。
職員	今年度全体特徴	87%の職員が充実していると回答している。
	年度間比較	昨年度より評価が大幅に上昇した。
	学年間比較	1学年の評価が特に高い。
全体	ほとんどの生徒や保護者が、学校生活が充実していると回答している。また、「充実していない」と回答する職員の割合も減少している。これまでの取り組みが着実に実を結んでいると見てよいだろう。引き続き、学校生活の充実について意見を交わし、実践を進めていく必要がある。	